



サーバー移行マニュアル
【ver1.6】

サーバー移行マニュアル 目次

サーバー移行マニュアル 目次	1
新サーバーへの移行について	1
サーバー移行の流れ	1
ご利用料金について	1
サーバー表記について	2
本マニュアルについて	2
新サーバーの仕様・機能一覧	3
新サーバーへのデータ移行状況について	4
1. 新サーバーの確認方法	5
1-1. 新サーバー管理画面について	5
1-2. マイアカウントページ ログイン方法【必須】	5
1-3. マイアカウントページ 構成と名称	7
1-4. 新サーバーの情報を確認する	8
1-5. ログインパスワードの変更方法	10
2. メールアカウントの移行について	11
2-1. メールアカウントの情報を確認する	11
2-2. メールソフトの設定	13
2-3. 既存のメール設定の確認	22
2-4. Web メールについて	25
2-5. メールの内部送付について	26
3. Web コンテンツの移行について	27
3-1. Web コンテンツの移行範囲とご注意点	27
3-2. ファイルマネージャでのデータ確認方法	27
3-3. FTP アカウント情報について	28
3-4. DNS 切り替え前にホームページの表示や動作を確認する	31
3-5. Web 表示でエラーが発生する場合	34

4. データベースについて	35
4-1. データベースを確認する	35
4-2. データベース移行について(パスワードの再設定)	36
5. アプリケーションについて	37
5-1. 新サーバーへのアプリケーション管理の引き継ぎ	38
6. ドメインと DNS レコード管理機能【必須】	40
6-1. ドメインの管理について	40
6-2. DNS（ネームサーバー）の切り替えについて	41
6-3. DNS レコードの編集	45
6-4. DNS レコードの新規追加・削除	46
7. お支払い方法の設定について【必須】	48
8. ご契約について【必須】	50
8-1. ご契約内容の確認方法	50
8-2. ご契約更新・解約方法について	51
8-3. お客さま情報変更の手続き方法	51
8-4. 請求情報の確認方法	52
8-5. 請求書（領収書）の発行方法	53

新サーバーへの移行について

ドメインキングは、品質の向上や機能改善に取り組むために、2019年6月より新サーバーへの移行を実施いたします。
お客さまにはご迷惑をおかけいたしますが、何とぞ、ご理解ご協力のほどお願い申し上げます。



大変お手数をおかけいたしますが、本マニュアルをご参照のうえ、移行作業にご協力くださいますようお願い申し上げます。

サーバー移行の流れ

サーバー移行は、お客さまごとに実施時期が異なります。

新サーバーの領域が完成後、個別にメールにてサーバー情報をご案内いたします。

【～2019/11/29 まではアカウント発行のご案内をお送りしたお客さま】

新サーバー領域の完成から旧サーバー領域の停止までの期間は **60 日間** となります。

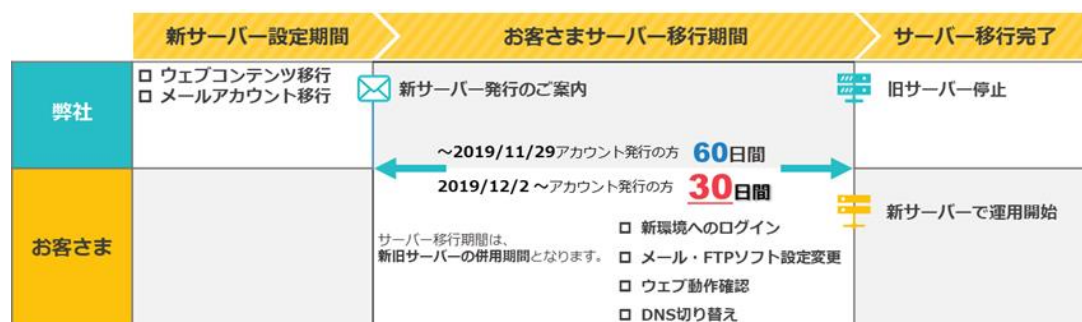
【2019/12/2 以降にアカウント発行のご案内をお送りしたお客さま】

新サーバー領域の完成から旧サーバー領域の停止までの期間は **30 日間** となります。

※これまでに移行されたお客さまの DNS 切り替えまでの平均値にて移行期間をあらためて決定しております。

また、弊社データ移行実施からお客さまの DNS 切り替えまでの間のデータ差分が極力発生しないようにという目的からデータ移行期間を短縮いたしました。

ご迷惑をおかけいたしますが、期間内のご対応をお願いいたします。



なお、新サーバーの領域作成後は、新サーバーにメールが届く可能性があるため、設定完了通知のメールが届きましたら、
[メールソフトの設定] まではお早めにご対応くださいますよう、お願いいたします。

※新サーバーの領域作成後に新サーバーへメールが届く可能性については[こちら](#)をご覧ください。

※新サーバーに届くメールについては、Web メールでも受信有無の確認が行えます。[こちら](#)をご覧ください。

ご利用料金について

サーバー移行後も、現在ご契約中のプラン・ドメインのご利用料金につきましては、変更はございません。

なお、現在のご契約プランにつきましては、プラン変更は行えませんので、あらかじめご了承ください。

現在、新規お申し込み受付を一時的に停止しておりますが、今後、新たにお申し込みいただくプラン・ドメインのご利用料金につきましては、お申し込み受付再開時の「ドメインキング」各プランのご利用料金に準じます。
あらかじめご了承くださいますようお願い申し上げます。

サーバー表記について

本マニュアル内では、移行前サーバーと移行後のサーバーについて、下記のように表記しております。

ドメインキング （移行前サーバー） : 旧サーバー

ドメインキング （移行先サーバー） : 新サーバー

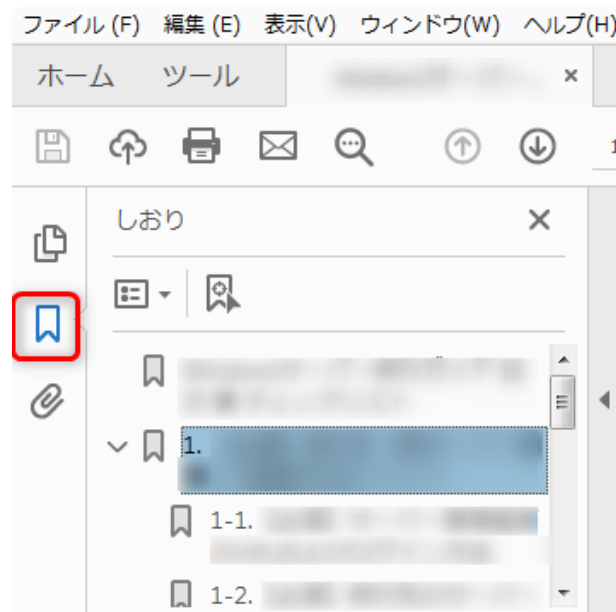
本マニュアルについて

本マニュアルは内容が多岐にわたるため、PDF で表示させる際に、「しおり」を表示していただくと、ご覧になりたい項目にすぐに移動することができます。

【Adobe Acrobat Reader DC】

Acrobat Reader DC で PDF を開きます。

画面左の『し』のマークをクリックし、しおりを開くことができます。



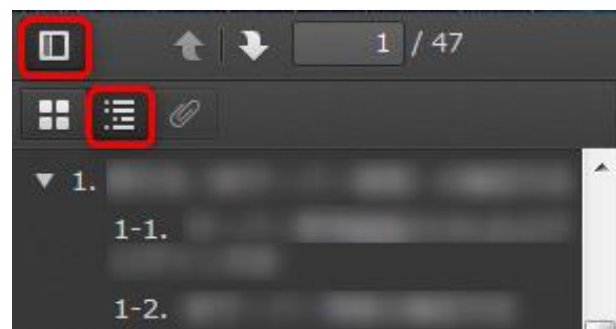
【Google Chrome】

Chrome で PDF を開いた際、画面右上に表示されるしおりのマークをクリックし、しおりを開くことができます。



【Fire Fox】

Firefox で PDF を開いた際、画面右上に表示されるしおりのマークをクリックし、しおりを開くことができます。



新サーバーの仕様・機能一覧

新サーバーの仕様・機能の一覧です。従来のサーバーでご利用いただいていたサービスにつきましても、新サーバーにてご利用いただけない機能なども一部ございます。あらかじめご容赦くださいますようお願いいたします。

※項目が多岐にわたるため、拡大してご覧いただくか、[こちら](#)をご覧ください。

料金プラン	プラン名		Pプラン	Sプラン	Mプラン	Pプラン	Sプラン	Mプラン
	変更前		変更後					
月額料金	1か月	500円	900円	1,600円	500円	900円	1,600円	—
	3か月							
	6か月							
	12か月							
	クレジットカード	○	○	○	○	○	○	○
支払方法	銀行振り込み	○	○	○	○	○	○	○
	※三井住友銀行		※GMOあおぞらネット銀行					
	コンビニ払い	—	—	—	○	○	○	○
	プラン変更	○	○	○	—	—	—	—
	契約期間変更	○	○	○	○	○	○	○
契約	お支払い方法変更	○	○	○	○	○	○	○

【機能一覧】

- 利用可能な機能です。
- △ 既存設定は引き継がれます。
- 既存設定は引き継がれません。または提供しておりません。
- 移行前の情報は引き継がれますが、設定等の変更は行えません。
- ※1 利用可能な機能ですが、既存設定分は引き継がれません。
- ※2 共用SSLのパスが変更となります。
- ※3 新サーバーへの移行は行われません。また、メーリングリストの提供はございません。
- ※4 転送設定など代替機能をご利用いただけます。

機能		説明		Pプラン	Sプラン	Mプラン	Pプラン	Sプラン	Mプラン
		変更前		変更後					
基本機能	ディスク容量	Web サイトのデータ、メール、各種ログ等を保存できる最大容量です。		20GB	100GB	200GB	20GB	100GB	200GB
	国内データセンター	国内にある堅牢性の高いデータセンターを利用しています。		○	○	○	○	○	○
	転送量	ご契約サーバーから送受信されるデータ総量に対する課金はありません。		課金なし					
	サーバー管理機能	マイアカウントページ	契約内容の照会、お支払い手続きなど契約管理を行う管理画面です。	○	○	○	○	○	○
ドメイン	独自ドメイン	サーバーの初期設定から日常的な管理まで、行えます。「Plesk」を標準搭載しています。		○	○	○	○	○	○
	マルチドメイン	複数ドメイン（例：domainking.jp）を利用できます。		○	○	○	○	○	○
	サブドメイン	複数の独自ドメインを登録できます。それぞれのドメインで、メール利用やサイト運営を行えます。		10個	無制限	無制限	10個	無制限	無制限
	サブドメイン	独自ドメインのサブドメイン（例：sample.domainking.jp）を作成し、利用できます。		10個	無制限	無制限	10個	無制限	無制限
アプリ関連	WordPress 管理	ご契約領域内にあるすべての WordPress の本体、プラグイン、テーマを一元管理できます。		○	○	○	○	○	○
	複数 WordPress 対応	複数の WordPress に対して、更新等の作業を一括で行えます。		○	○	○	○	○	○
	インストール管理	インストール/アンインストール/アクティブ化/非アクティブ化を行えます。		○	○	○	○	○	○
	更新管理	最新バージョンの更新確認および更新作業を行えます。自動更新も設定できます。		○	○	○	○	○	○
WEB関連	セキュリティチェック	WordPress のセキュリティ診断を行えます。		○	○	○	○	○	○
	ドメインエイリアス	複数の独自ドメインで同一の Web サイトを表示できます。		10個	10個	20個	—	—	—
	ドメイン転送	独自ドメインへのアクセスを希望の URL や IP へ転送できます。		○	○	○	○	○	○
	FTP	FTP	FTP（ファイル転送プロトコル）を利用して、ファイルの送受信を行えます。	5個追加可	無制限	無制限	無制限	無制限	無制限
W E B 関 連	FTP	FTPS	FTPS（FTP over SSL）を使えば、FTP で送受信するデータを暗号化できます。	○	○	○	○	○	○
	ファイルマネージャー	ブラウザ上でファイルのアップロード、編集等の操作が行えます。		○	○	○	○	○	○
	プログラム	SSI/CGI	SSI（Server Side Include）を利用できます。	○	○	○	○	○	○
	Perl 5	Perl 5 を利用できます。		○	○	○	○	○	○
セキ ュ リ ティ	PHP 7/5	PHP 7 または 5（いずれも CGI 版）を選択して利用できます。		○	○	○	○	○	○
	PHP 7/5	PHP 7 または 5（いずれも FastCGI 版）を選択して利用できます。		○	○	○	○	○	○
	PHP 5	PHP 7 または 5（いずれも Apache モジュール版）を選択して利用できます。		○	○	○	—	—	—
	PHP バージョン選択	PHP のバージョンを複数用意しています。利用するバージョンを選べます。		○	○	○	○	○	○
メール機能	CRON	コマンドスケジューラー 指定した曜日、日時に指定したプログラムを起動できます。		○	○	○	○※1	○※1	○※1
	データベース	MySQL 5	データベース（MySQL）のバージョンを複数用意しています。利用するバージョンを選べます。	1個	5個	10個	1個	5個	10個
	データベース管理	phpMyAdmin	データベース（MySQL）の管理ツールを利用できます。	○	○	○	○	○	○
	ユーザー用 Web 領域	ユーザー用の Web 領域（例：http://example.com/~< ユーザー名 >/）を用意できます。		○	○	○	○	○	○
メール機能	プレビュー	アップロードした Web ページを表示させ、プレビューできます。		○	○	○	○	○	○
	カスタムエラーページ	「404 Not Found」など、独自のエラーページを作成して利用できます。		○	○	○	○	○	○
	アクセス制限	Web サイトや特定のページにパスワードをかけることで、訪問者によるアクセスを制限できます。		○	○	○	○	○	○
	アクセスログ	アクセスログの取得・閲覧	アクセス元の IP アドレス、時間、アクセス元のドメインなどを含むアクセスログを取得・閲覧できます。	○	○	○	○	○	○
メール機能	エラーログの取得・閲覧	サーバーで発生したエラーを記録したエラーログを取得・閲覧できます。		○	○	○	○	○	○
	アクセス解析	AWStats	Web サイトへのアクセス数や訪問経路などの情報を解析・表示する機能です。AWStats を利用できます。	○	○	○	○	○	○
	Webalizer	Web サイトへのアクセス数や訪問経路などの情報を解析・表示する機能です。Webalizer を利用できます。		○	○	○	○	○	○
	リソース情報	ディスク容量、トラフィック使用量など、お客さま領域に関するリソース情報を閲覧できます。		○	○	○	○	○	○
メール機能	SSL	共用 SSL	ドメインキングの SSL 証明書を利用して、サイトへの接続を SSL で防御できます。	○	○	○	○※2	○※2	○※2
	独自 SSL	お客さま専用の SSL 証明書を利用できます。詳細は、公式サイトをご確認ください。		○	○	○	○	○	○
	WAF（Webアプリケーションファイアウォール）	第三者による悪意ある攻撃を検知し、Web サイトを守る Web アプリケーションファイアウォールを利用できます。		○	○	○	○	○	○
	バックアップ	バックアップ	Web サイト、メールアカウント等のバックアップ・データをサーバー内の専用領域に保管できます。	○	○	○	●	●	●
メール機能	バックアップ	バックアップ復元	バックアップ・データを復元できます。	○	○	○	○	○	○
	FTP バックアップツール	Web サイト、メールアカウント等のバックアップ・データを FTP を使って別のサーバーへ移動し、保管できます。		○	○	○	○	○	○
	迷惑メールフィルタ	迷惑メール（スパム）の受信を防ぐ迷惑メールフィルタを利用できます。		○	○	○	○	○	○
	メールウイルス除去サービス	メールを媒介とするウイルスの自動検知・駆除を行い、ウイルス感染を防ぎます。		○	○	○	○	○	○
メール機能	メールアカウント	メールアドレスを作成できます。		10個	無制限	無制限	無制限	無制限	無制限
	メーリングリスト	メーリングリストを開設できます。登録メンバー数に制限はありません。		○	○	○	—※3	—※3	—※3
	メール転送	着信したメールを指定のメールアドレスへ転送できます。		○	○	○	○	○	○
	メールエイリアス	バーチャルメールアドレスを作成し、受信メールを転送できます。		○	○	○	—※4	—※4	—※4
メール機能	自動メール返信	あらかじめ用意しておいたメッセージを自動的に返信します。		○	○	○	○	○	○
	キャッチオール	存在しないメールアドレス宛てにメールが届いても、すべて受信できます。		○	○	○	—	—	—
	Web メール	Web ブラウザ上でメールの送受信を行えます。		○	○	○	○	○	○
	POP	POP（メールを受信するための標準的なプロトコル）を利用できます。		○	○	○	○	○	○
メール機能	APOP	APOP を利用できます。メール受信時に認証パスワードを暗号化します。		○	○	○	○	○	○
	IMAP	IMAP を利用できます。メールの受信前に件名や送信者をチェックでき、モバイル端末での利用が人気です。		○	○	○	○	○	○
	POP over SSL	メール受信時に SSL を使い、暗号化を行った上でメールを受信できます。		○	○	○	○	○	○
	IMAP over SSL	メール受信時に SSL を使い、暗号化を行った上でメールを受信できます。		○	○	○	○	○	○
メール機能	POP before SMTP	メール送信時に行うユーザー認証方法です。		○	○	○	○	○	○
	SMTP	SMTP（メールを送信するためのプロトコル）を利用できます。		○	○	○	○	○	○
	SMTPAuth	メール送信時に、ユーザー名とパスワードで認証を行います。		○	○	○	○	○	○
	SMTP over SSL	暗号化送信機能を利用できます。		○	○	○	○	○	○
メール機能	STARTTLS	暗号化送信機能を利用できます。		○	○	○	○	○	○
	サブミッションポート	認証機能付きの 587 番ポートを利用できます。		○	○	○	○	○	○

新サーバーへのデータ移行状況について

基本的なデータは、弊社にてデータ移行を実施しておりますが、仕様の違い等により、弊社であらかじめ移行している情報とお客さまにてご確認、または、新たに設定していただく情報がございます。

※**赤字** で記載されている箇所は、移行はされていますが、確認や再設定などお客さま作業が必要な項目となります。

項目	移行状況	お客さま作業
各ユーザーのアカウント名とパスワード	○	移行済み
メールアカウントとパスワード	○	移行済み
メール設定（メールデータ）	×	未移行 ※ウェブメールや IMAP アカウントをご利用のお客さまは、メールソフトで、POP 受信のアカウント設定が必要です
メールアドレス転送設定	○	移行済み
迷惑メールフィルター	○	移行済み
自動返信メール	○	移行済み
ウェブメール	△	アドレス帳・メールデータ未移行 ※新システム『Roundcube』に変更となります。
メーリングリスト	×	移行されません ※機能のご提供はございません。
メールエイリアス	×	移行されません ※代替機能として『転送設定』をご利用いただけます。
FTP アカウント名と FTP サーバー情報	○	移行済み ※FTP サーバー情報のみ変更となります。
ウェブコンテンツのデータ	○	移行済み ※差異確認、動作確認
データベース(MySQL)	○	移行済み ※差異確認、動作確認

◆ ドメインのみをご契約のお客さま

サーバーのご契約がなく、ドメインキングでドメインのみをご契約・管理をされているお客さまは、「サーバー移行」の『2. メールアカウントの移行について』～『5. アプリケーションについて』の手順はご不要です。

6. ドメインと DNS レコード管理機能【必須】

6-1. ドメインの管理について

6-2. DNS（ネームサーバー）の切り替えについて「◆新サーバーの DNS（ネームサーバー）へ切り替える」

上記の手順をご確認のうえ、移行期間内に、新サーバーの DNS（ネームサーバー）への切り替えをお願いいたします。

7. お支払い方法の設定について【必須】

8. ご契約について【必須】

についても、重要な情報が記載されておりますので、あわせてご確認をお願いいたします。

1. 新サーバーの確認方法

1-1. 新サーバー管理画面について

従来の『マイアカウントページ』から、新サーバーの『[マイアカウントページ](#)』へ変更となります。

新サーバーの準備が完了いたしましたら、メールにて新サーバーのログイン情報等を下記の件名にてご案内いたします。

マイアカウントページでは、お客さまのアカウント情報の変更や、サーバーの設定など、弊社サーバーサービスをご利用いただくうえで必要な設定をすべて行うことができます。

1-2. マイアカウントページ ログイン方法 **【必須】**

ログインに必要な情報は、以下の件名にてメールでご案内いたします。

■件名：【重要】【ドメインキング】新環境への移行完了とログイン情報のお知らせ

- **STEP1.** [マイアカウントページURL] にアクセスします。

マイアカウントページ URL

<https://domainking.cloud/cp/>

- **STEP2.** 初回ログインのためのパスワードをお客さまご自身で再発行していただきます。

ログイン画面 [パスワードを忘れた場合] をクリック。

- **STEP3.** パスワード再設定のウィンドウが開きます。

[Username (ユーザ名)] にご登録メールアドレスを入力して [送信] をクリック。

※パスワード再設定用メールが数分待っても届かない場合は、少しお時間を置いて、「STEP2」の手順をお試しください。

※旧「マイアカウントページ」内 [アカウント] > [アカウント管理] > [個人プロフィール] にて、ご契約と異なるメールアドレスを指定されている場合、パスワード再設定用のメールは、個人プロフィールで設定されたメールアドレス宛てに届きます。

[Username(ユーザー名)] には上記のアドレスをご指定ください。

- **STEP4.** 登録メールアドレス宛てにパスワード再設定のメールが届きますので、本文内の「パスワード再発行URL」をクリックし、新しいパスワードを再設定してください。

※パスワードは半角英大文字・小文字・数字・記号を含む

7文字以上でご設定をお願いいたします。

※パスワードは重要な情報となりますため、メモ等にお控えください。

※次回以降のログインの際、パスワードをお忘れになった場合は、同じ手順でパスワード再設定が可能です。

件名：【ドメインキング】パスワード再発行につきまして

パスワード再発行URL：

<https://domainking.cloud/cp/>

※有効期限は48時間となりますため、お早めのお手続きをお願いいたします。

今後ともドメインキングサービスをご愛顧くださいますよう、よろしく願い申し上げます。

◆ パスワード再設定後のログイン

◆ STEP1. ログイン情報を入力します。

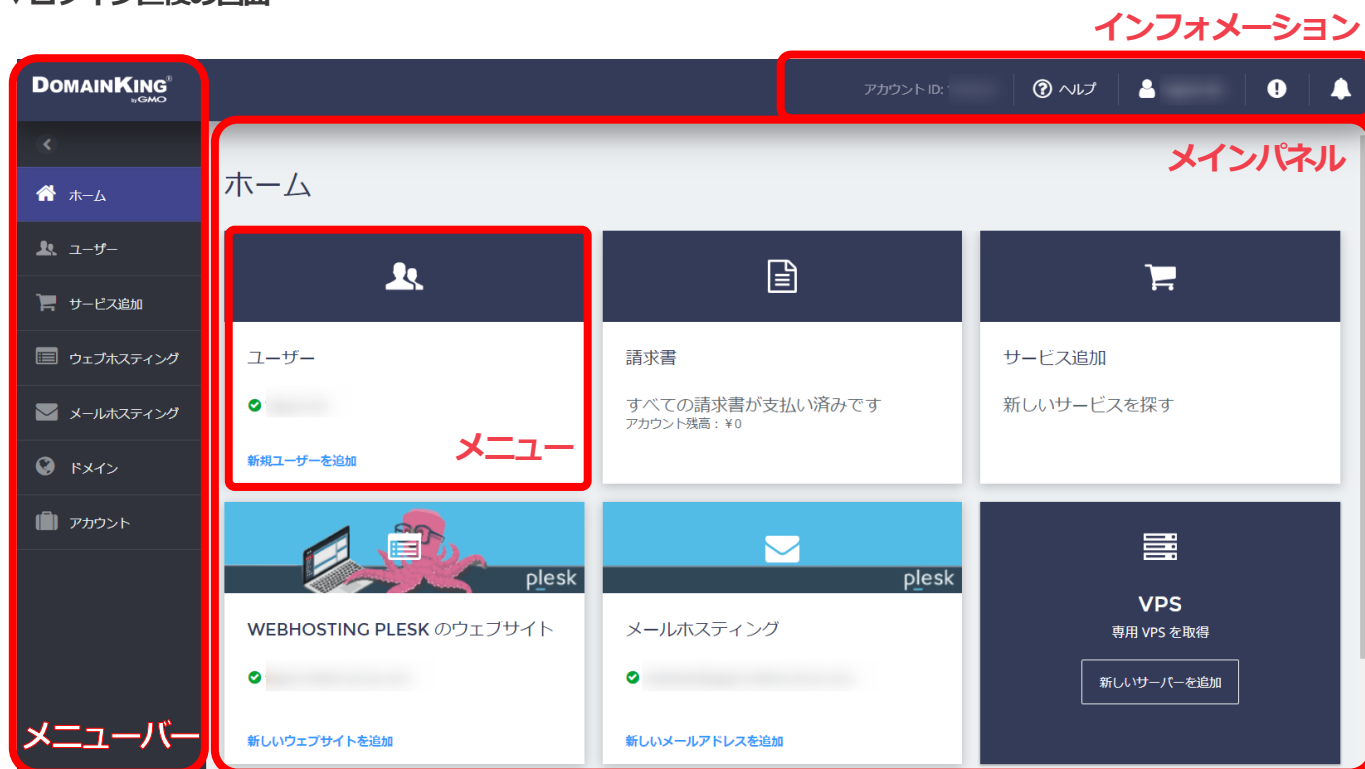
- ・ご契約時のメールアドレス
- ・再設定されたパスワード



The login form for DomainKing by GMO. It features a dark blue header with the logo. Below the header, there are two input fields: 'ユーザ名' (Username) and 'パスワード' (Password), both highlighted with a red border. To the right of the password field, there is a link that says 'パスワードを忘れた場合' (Forgot your password?). At the bottom right, there is a blue 'ログイン' (Login) button, also highlighted with a red border and a hand cursor icon pointing to it.

ログインが完了すると、TOP 画面が表示されます。

▼ログイン直後の画面



The dashboard after login, featuring a dark blue header with the DomainKing logo and account ID. The main content area is divided into several sections. On the left, there is a sidebar menu with icons for Home, User, Service Addition, Web Hosting, Email Hosting, Domain, and Account. The main area is titled 'ホーム' (Home) and contains a 'メインパネル' (Main Panel) with six tiles: 'ユーザー' (User) with a '新規ユーザーを追加' (Add new user) link, '請求書' (Invoice) with a status message and 'アカウント残高: ¥0', 'サービス追加' (Service Addition) with a '新しいサービスを探す' (Find new service) link, 'WEBHOSTING PLESK のウェブサイト' (Plesk website) with a '新しいウェブサイトを追加' (Add new website) link, 'メールホスティング' (Email Hosting) with a '新しいメールアドレスを追加' (Add new email address) link, and 'VPS' with a '専用 VPS を取得' (Get dedicated VPS) button and a '新しいサーバーを追加' (Add new server) button. The sidebar menu is labeled 'メニューバー' (Menu Bar) and the main panel is labeled 'メインパネル' (Main Panel) in red text.

1-3. マイアカウントページ 構成と名称

◆ インフォメーション

お客様の「アカウントID」や、操作やお手続きを行われた際の通知などが表示されます。

アカウントID:	お客様のご契約のアカウントIDが表示されます。
🔗 ヘルプ	【ヘルプ】 > 【サポート連絡先】をクリックして 下記のドメインキング サポート窓口のお問い合わせフォームを開きます。
💡 お問い合わせ窓口	ドメインキングの お問い合わせフォーム が表示されます
? FAQ	ドメインキングの「 よくあるご質問 」をご覧ください。
📖 マニュアル	ドメインキングの マニュアル集 をご覧ください。
🔔 お知らせ & 障害情報	ドメインキングのサービスについて、 お知らせや障害情報 をご覧ください。
👤 user name	【ユーザー】 > 【プロフィール】をクリックしてユーザー設定の ページへ進みます。サインアウトもこちらから行えます。
❗	お客様のご契約について、ドメインキングからのお知らせや 通知をご覧ください。
🔔	ご契約のサーバーに登録されているすべてのユーザーが実行した アクションログ（操作履歴）をご覧ください。

◆ メニューバー

🏠 ホーム	ご契約サーバーに関する基本的な設定を行う画面です。 ウェブやメールの設定などの管理メニューが一覧で表示されます。
👤 ユーザー	ご契約サーバーの契約者情報を確認できます。 「マイアカウントページ」へログインするための、ユーザーの追加が行えます。
🛒 サービス追加	ドメインキングでご利用可能なサーバープラン・ドメインなどの お申し込みが可能です。
📄 ウェブホスティング	ご契約サーバーに設定されて Web サイトの作成や管理のほか アプリケーションのインストールなどが行えます。
✉ メールホスティング	お客様のドメイン名を使用してメール機能をご利用になれます。 メールボックス・メールアカウントの管理が行えます。
🌐 ドメイン	ご契約サーバーに設定中の『ドメイン名』が一覧で表示されます。 DNS レコードの管理・修正も、このメニューから行えます。
👜 アカウント	お客様のご契約内容やご請求内容について確認ができます。 マイアカウントページへのログイン情報の変更なども行えます。

1-4. 新サーバーの情報を確認する

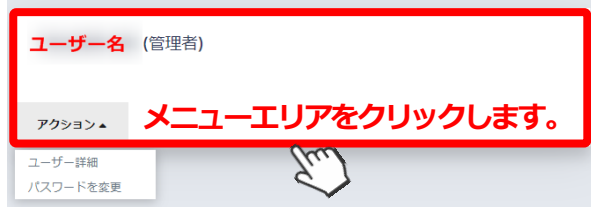
新サーバーには、旧サーバーに設定されていたのと同じユーザー情報が移行されておりますが、念のため、正しく移行されているかどうかを、お客さまご自身でご確認いただくことをお勧めいたします。

◆ 1-4-1. ユーザー情報の確認手順

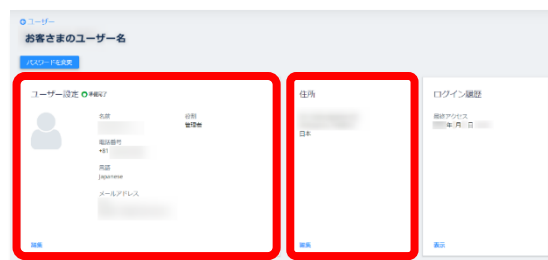
■ STEP 1. マイアカウントページ [ユーザー] > [ユーザー名]

または

[ユーザー] > [アクション] > [ユーザー詳細]
をクリックします。



■ STEP 2. [ユーザー設定]、[住所] の詳細をご確認ください。



基本情報	
ユーザー名	マイアカウントページにログイン可能なユーザー
役割	管理者 / ユーザー のいずれか
メールアドレス	ログインに必要なメールアドレスです。旧サーバーの「アカウント情報」を引き継いでおります。

◆ 1-4-2.新サーバーのIP アドレス情報の確認手順

新サーバーでは、サーバーが変更されたため、IP アドレス情報が旧サーバーと異なっております。

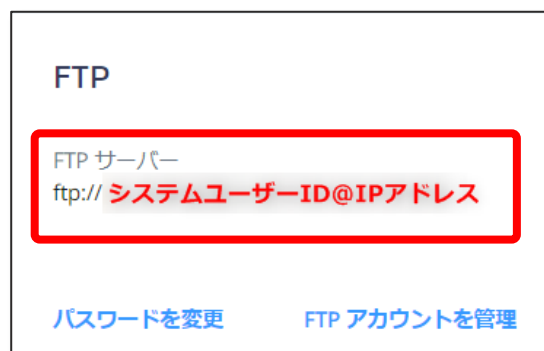
新サーバーのIP アドレス確認方法は、以下のとおりです。

- **STEP 1.** マイアカウントページ【ウェブホスティング】 > 該当の契約（ウェブスペース）のエリアをクリック。



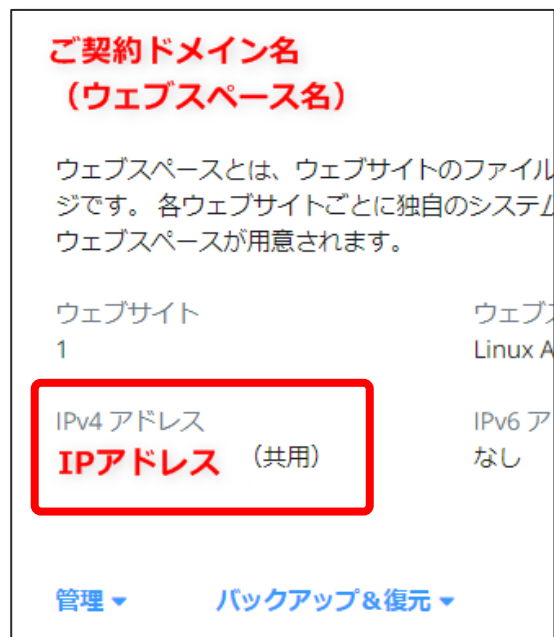
- **STEP 2.** 【FTP】 内に、新サーバーのIP アドレスが表示されます。

※システムユーザーIDの「@」以降が、
新サーバーのIP アドレス情報です。



同画面右下の「ホスティング設定」内の「IPv4 アドレス」にも、
新サーバーのIP アドレスが表示されます。

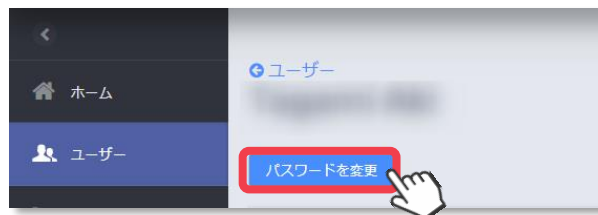
いずれも同じ IP アドレス情報ですので、どちらを
ご利用いただいても問題ありません。



1-5. ログインパスワードの変更方法

マイアカウントページのログインパスワードを変更される際は、以下の手順で変更が行えます。

- **STEP 1.** マイアカウントページ [ホーム] > [ユーザー]
 - > パスワードを変更したいユーザーを選択し
 - > [パスワードを変更] をクリック。



- **STEP 2.** 「パスワードを変更」のウィンドウが開きます。

「新しいパスワード」フォームには自動生成されたパスワードが表示されます。

お客様の任意の文字列でも設定が可能です。

フォームにパスワードを入力し、最後に **[OK]** をクリックして保存します。



	パスワードを自動生成
	パスワードを表示する

2. メールアカウントの移行について

メールアカウントは弊社にて移行済みです。メールアドレス名、パスワード、メールサーバー情報の変更はございません。
マイアカウントページから、各種メールアカウントのご設定状況を確認できます。

2-1. メールアカウントの情報を確認する

【メールホスティング】をクリックして、移行されたメールアドレスをご確認いただけます。

メールアドレス	旧サーバーと新サーバーで同じメールアドレスをご利用になれます。
アカウント名（ユーザー名）	旧サーバーと新サーバーで同じアカウント（メールアドレス）をご利用になれます。
パスワード	旧サーバーと新サーバーで同じパスワードをご利用になれます。

◆ 2-1-1. メールサーバー情報の確認

- STEP1. 【メールホスティング】をクリック。
- STEP2. ご契約内のメールアドレスの一覧が表示されます。
- STEP3. 設定情報を確認したいメールアドレス > 【メール設定情報】をクリック。

※メールサーバー情報は、全ユーザー共通です。

受信メールサーバー	mail.ドメイン名 ※従来と同じ情報です。
送信メールサーバー	mail.ドメイン名 ※従来と同じ情報です。

メールソフトに設定されたメールアカウントは、基本的に再設定を行っていただく必要はありません。

ただし、受信（POP）・送信（SMTP）サーバーをIPアドレスにて設定されている場合は、DNS 切り替え後にメールの送受信ができなくなるため、新サーバーの「メールサーバー名：mail.ドメイン名」にご修正をお願いいたします。

また、セキュリティ強化の一環として、送信（SMTP）サーバーを「サブミッションポート：587」で設定されている場合は、TLS を使用した通信（STARTTLS）が必須となりますので、ポート番号と SSL / TLS の設定のご確認をお願いいたします。

◆ 2-1-2. Web メールのご利用について

DNS 切り替えを行われてから数時間は、新旧サーバーのどちらに接続されるか不明確なプロパゲーション期間が発生いたします。

DNS レコード情報を更新した際に必要となる伝播期間となりますが、この期間はメールが新サーバーと旧サーバーのどちらにメールが届くかが不明確となります。

インターネットの仕様上、回避ができないものとなりますが、お客さまの貴重なメールの取りこぼしを防ぐためには、以下2つの方法がございます。

1. 一時的に Web メールも併用し、新旧サーバーそれぞれに個別に届いたメールも確認する
2. 新旧サーバーそれぞれの IP アドレス情報にて、メールソフトに新旧2つのアカウントを設定する

上記のうち【2】の手順につきまして、お客さまにお手数をおかけしてしまうため、【1】のように一時的に新旧サーバー共に Web メールをご利用いただき、メールの取りこぼしがないかのご確認をいただくことをおすすめいたします。

なお、データ移行完了後、旧サーバーで Web メールのご利用設定をされていないお客さまは、旧 Web メールをご覧いただくことができません。お手数ではございますが、弊社サポート窓口までお問い合わせください。

新サーバーでの Web メールの設定方法につきましては、『[2-4. Web メールについて](#)』をご参照ください。

◆ 旧サーバーで Web メールの利用設定をされていたお客さま

お客さまがお使いの PC の「hosts ファイル」を使って、旧サーバーの Web メールをご覧になれます。

詳細な設定方法は『[3-4-2. hosts ファイルでの確認方法](#)』をご確認ください。

Web メールを確認するために追記する記述は以下のとおりです。

旧サーバーの IP アドレス webmail.ドメイン名

※IP アドレスとドメイン名の間に半角スペースを入力してください。

上記の記述を無効にするには、行頭に『#』（半角でも全角でも可）を追記し、ファイルを上書き保存します。

#旧サーバーの IP アドレス webmail.ドメイン名

旧メールサーバーIP アドレスは、『[◆旧サーバーの DNS レコードを確認する](#)』の手順で確認していただけます。

◆ 2-1-3. IMAP でのご利用について

IMAP 形式のアカウント（または Web メール）でメールを利用されている場合、メールデータは、サーバー内のメールボックス上にしか存在しません。

そのため、IMAP 形式のアカウント（または Web メール）でメールを利用されているお客さまにおかれましては、**旧サーバー停止時にメールデータが削除され、メールソフト内でも送受信済みのメールの閲覧ができなくなります。**

メール閲覧ができなくなる回避策として、DNS 切り替え前に「POP 形式のアカウント」を別途設定し、お客さまの PC 上にメールデータを保存していただくことを推奨いたします。

※保存手順につきましてはメールソフトごとに異なりますため、別途ご確認ください。

なお、メールソフトのご設定方法：『[2-2. メールソフトの設定](#)』をご参照ください。

2-2. メールソフトの設定

お客さまが作成されたメールアドレスは、PC やモバイルなどのメールソフトに設定してご利用になれます。

各種メールソフトの設定に必要な情報は以下のとおりです。

メール設定情報		
メールアドレス		お客さまのメールアドレス
ユーザー名		メールアドレスと同じ（@以降も含む）
パスワード		メールアドレスに設定されたパスワード
受信メールサーバー（ホスト）名		mail.ドメイン名 （お客さまのドメイン名）
受信ポート	POP	110（SSL なし / 接続の保護なし）または 995（POP over SSL）
	IMAP	143（SSL なし / 接続の保護なし）または 993（IMAP over SSL）
送信メールサーバー（ホスト）名		mail.ドメイン名 （お客さまのドメイン名）
送信ポート（SMTP）		587（TLS / STARTTLS）または 465（SSL）
送信サーバー（SMTP）は認証が必要		有効

次ページ以降に、代表的なメールソフトの設定方法や確認方法を掲載しておりますので、ご確認ください。

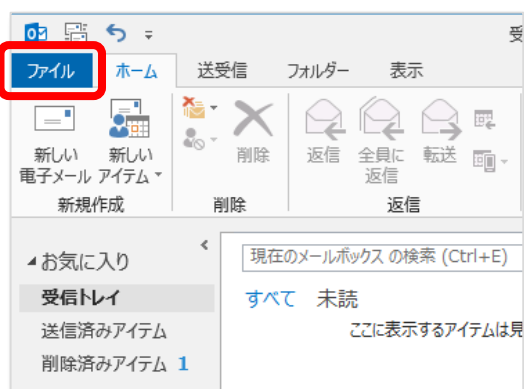
- ◆ [Microsoft Outlook2013](#)
- ◆ [Microsoft Outlook2016](#)
- ◆ [Mozilla Thunderbird](#)
- ◆ [Windows10 メールアプリ](#)
- ◆ [Apple\(Mac \)Mail](#)
- ◆ [Gmail \(PC 版\)](#)

上記以外のメールソフトをご利用のお客さまは、お手数ではございますが、お使いのメールソフトのヘルプなどをご確認ください。

※Microsoft「Windows Live Mail」をはじめとする、一部のメールソフトでは、新サーバーの「STARTTLS」暗号化方式に対応しておりませんため、新サーバーから「587/STARTTLS」でのメール送信が行えません。
あらかじめご了承ください。

Microsoft Outlook2013

1. Outlook を起動します。
2. 上部メニューの [ファイル] をクリック

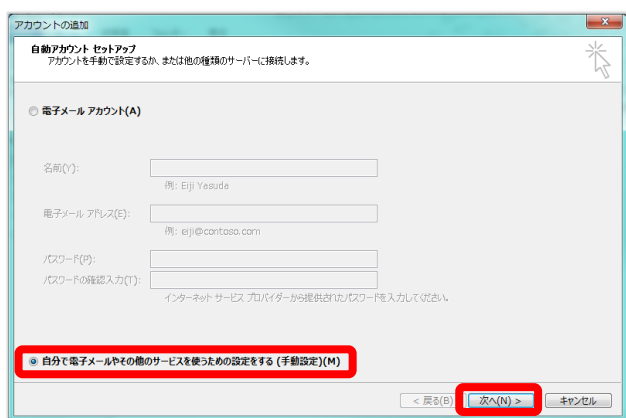


3. [情報] > [+アカウントを追加] をクリック



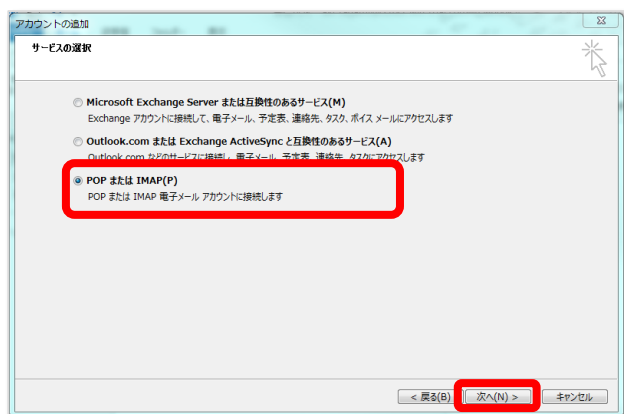
4. [自動アカウントセットアップ] >

[自分で電子メールやその他のサービスを使う...] を選択して
[次へ] をクリック



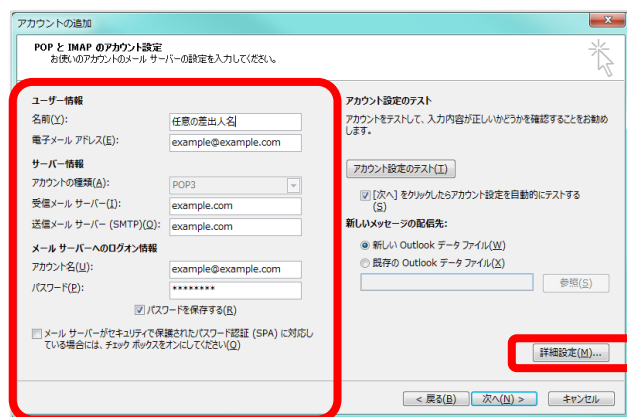
5. [サービスの選択] >

[POP または IMAP] を選択して [次へ] をクリック



6. [POP と IMAP のアカウント設定] のウィンドウで

メール設定に必要な情報を入力します。



名前	差出人名として相手に表示させる名前
電子メールアドレス	お客さまのドメインのメールアドレス
アカウントの種類	POP3 / IMAP
受信メールサーバー	mail.ドメイン名
送信メールサーバー	mail.ドメイン名
アカウント名	お客さまのドメインのメールアドレス
パスワード	パスワード

7. 上記の情報まで入力完了したら [詳細設定] をクリック

[送信サーバー] タブ内

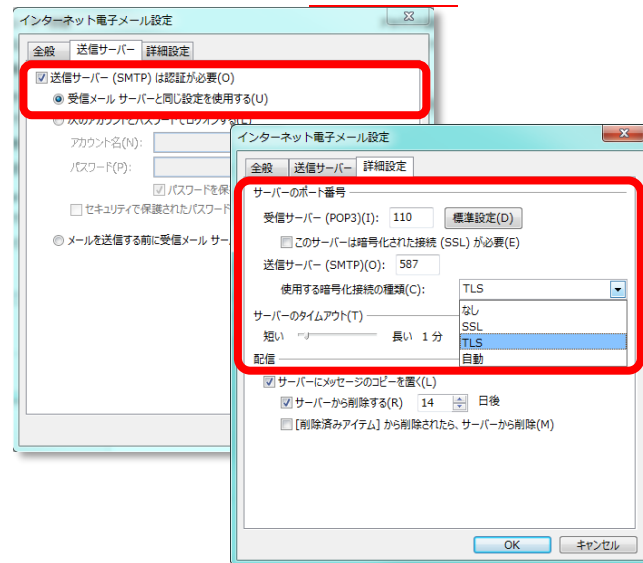
送信サーバー (SMTP) は認証が必要にチェック

- 受信メールサーバーと同じ設定を使用するを選択

8. [詳細設定] タブ内 > サーバーのポート番号 で

送信サーバー (SMTP) の数値を 25 から 587 へ変更

使用する暗号化接続の種類 に 『TLS』を選択



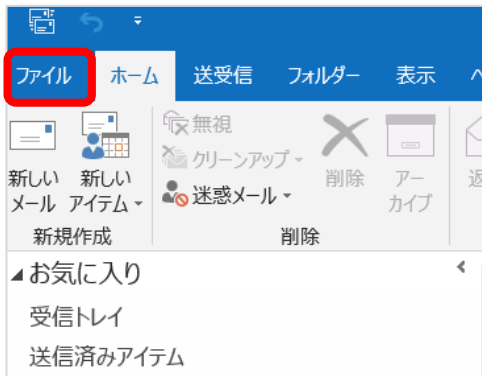
9. [OK] > [次へ] をクリックすると、自動的にテストメールの

送受信が行われます。エラーがでなければ完了です。

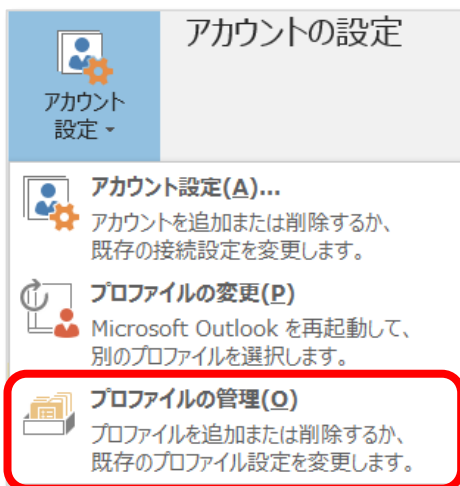
「Microsoft Outlook のテストメッセージ」を受信できたか確認してください。

Microsoft Outlook2016

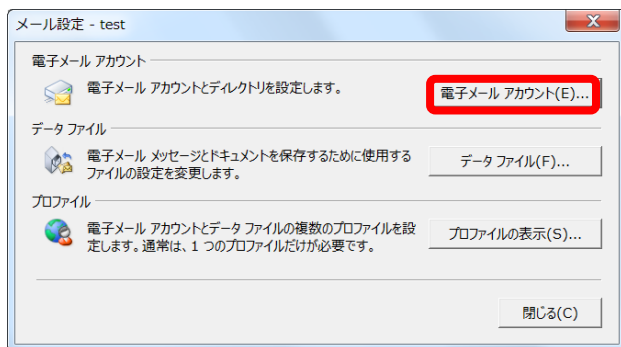
1. Outlook を起動します。
2. 上部メニューの「ファイル」をクリック



3. 「情報」 > 「アカウント設定」 > 「プロファイルの管理」をクリック



4. 「電子メールアカウント」をクリック



5. 「新規 (N)」をクリック



6. 「Microsoft Outlook2013 の手順 6-9」を

参考に、アカウントを設定します。

※Outlook 2016 の【詳細設定】では以下の点が異なります。

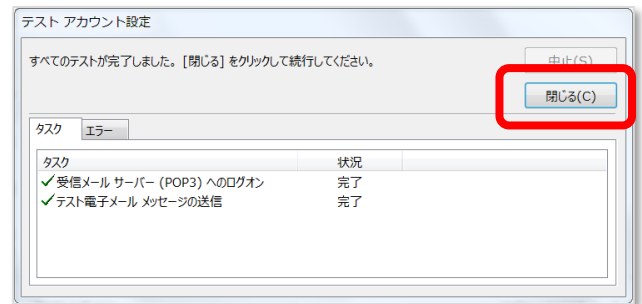
送信サーバー (SMTP) の数値を 25 から 587 へ変更し

使用する暗号化接続の種類 に『STARTTLS』を選択

7. 自動的にテストメールの送受信が行われます。

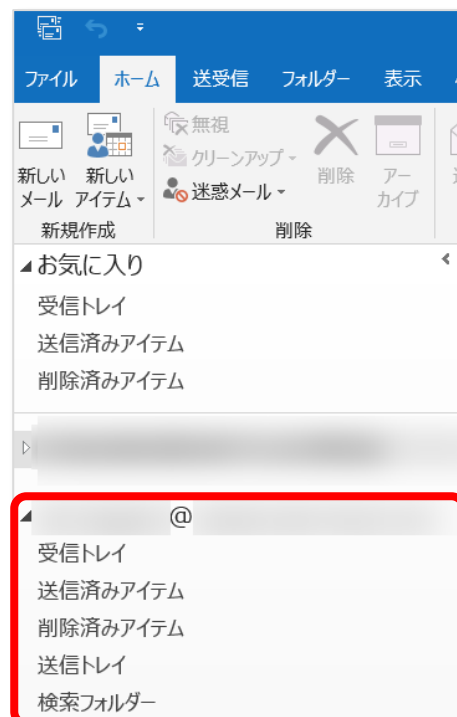
エラーがでなければ完了です。

「閉じる」をクリックして受信トレイに戻ってください。



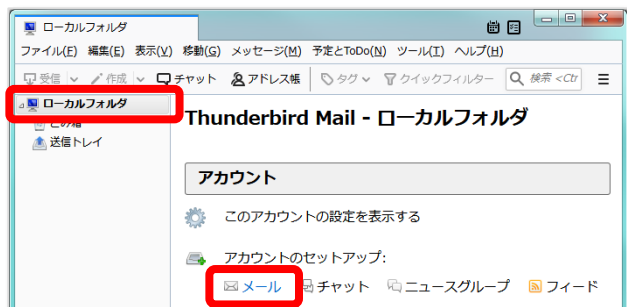
8. Outlook 上に、設定したメールアドレスの受信トレイが表示されます。

「Microsoft Outlook のテストメッセージ」を受信できたか確認してください。

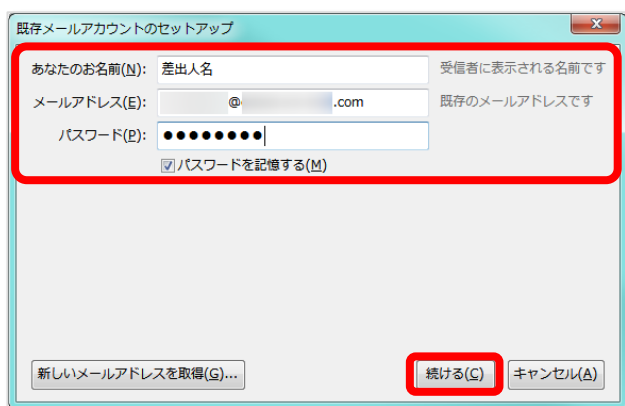


Mozilla Thunderbird

1. Thunderbird を起動します。
2. ローカルフォルダ内の【アカウントのセットアップ】 > 【メール】 をクリック

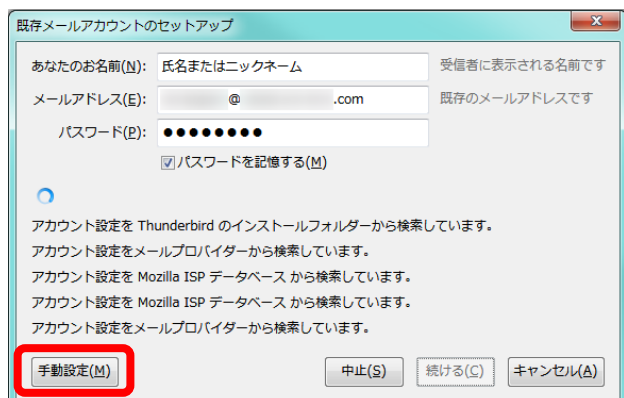


3. [既存メールアカウントのセットアップ] ウィンドウで、メール設定に必要な情報を入力して【続ける】をクリック



あなたのお名前	差出人名として相手に表示させる名前
メールアドレス	お客様のドメインのメールアドレス
パスワード	パスワード

4. Thunderbird がメールプロバイダーなどの検索をかける間に【手動設定】をクリック



5. 手動設定フォームでサーバー情報の設定を行います。



受信サーバー (POP3)

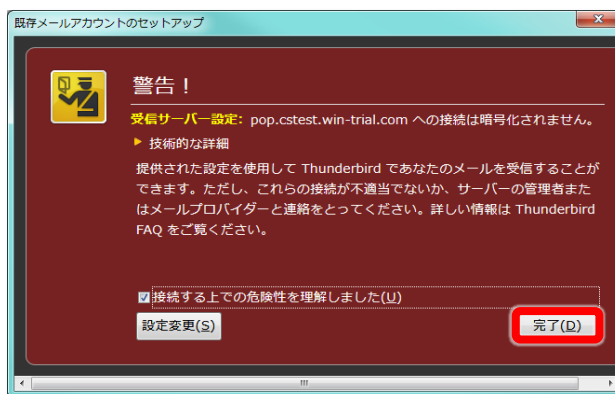
サーバーのホスト名	mail.ドメイン名
ポート番号	110
SSL	接続の保護なし
認証方式	通常のパスワード認証
ユーザー名	お客様のドメインのメールアドレス

送信サーバー (SMTP)

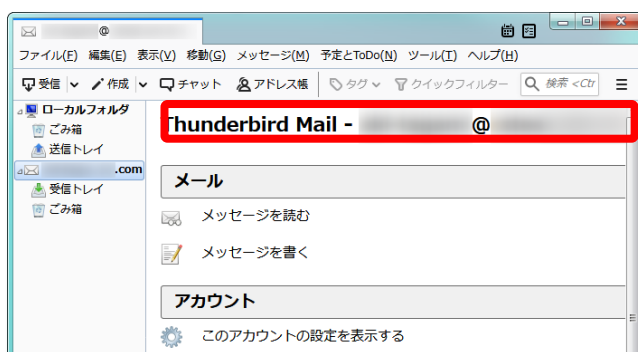
サーバーのホスト名	mail.ドメイン名
ポート番号	587
SSL	STARTTLS
認証方式	暗号化されたパスワード認証
ユーザー名	お客様のドメインのメールアドレス

上記の情報まで入力完了したら【完了】をクリック

6. 「警告」ウィンドウで「接続する上での危険性を理解しました」にチェックをいれ、【完了】をクリック



7. Thunderbird のウィンドウにメールアドレスが表示されたら設定は完了です。

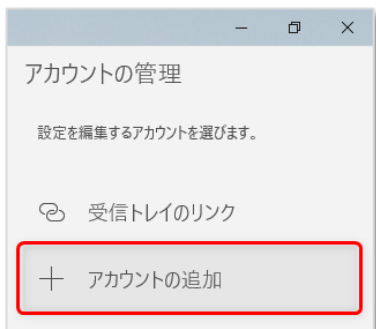


Windows10 メールアプリ

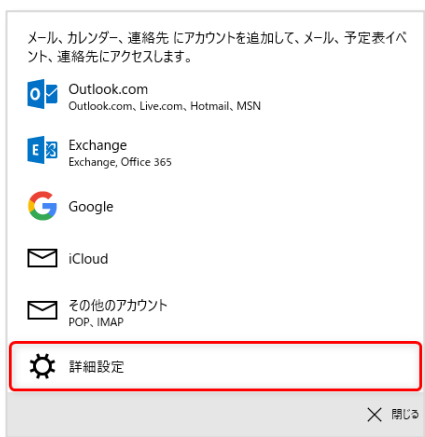
- 1.Windows10 メールアプリを起動します。
- 2.メニューの「アカウント」>「アカウントの管理」をクリック



- 3.「アカウントの管理」>「+アカウントの追加」をクリック



- 4.「詳細設定」をクリック



- 5.「インターネットメール」をクリック



6. 手動設定フォームでサーバー情報の設定を行います。

インターネットメールアカウント

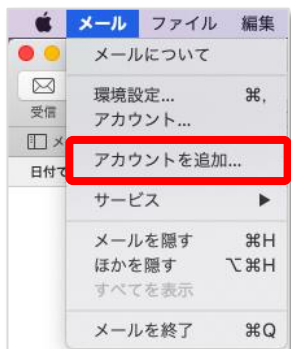
メールアドレス	お客様のドメインのメールアドレス
ユーザー名	お客様のドメインのメールアドレス
パスワード	パスワード
アカウント名	Win10 メールアプリ上での表示名
この名前を使用して...	差出人名として相手に表示させる名前
受信メールサーバー	mail.ドメイン名
POP3 / IMAP4	POP3 ※IMAP でも設定は可能です
メールの送信サーバー	mail.ドメイン名:587:1
送信サーバーには、認証が必要です(SMTP Auth)	有効
送信メールに同じユーザー名とパスワードを使用	有効
受信メールにはSSL が必要	任意
【SSLを有効にした場合】※サーバー名とポートを以下のように記載 POP3：お客様の受信メールサーバー名:995 IMAP4：お客様の受信メールサーバー名:993	
送信メールにはSSL が必要	任意
【SSLを有効にした場合】※サーバー名とポートを以下のように記載 お客様の送信メールサーバー名:465	

- 7.すべての情報を設定後、「サインイン」をクリックして設定は完了です。

◆ Apple(Mac)Mail

1. Mail を起動します。

2. メニューバー [メール] > [アカウントを追加] をクリック



3. 以下のウィンドウで、「その他のメールアカウント」を選択して
[続ける] をクリック

※Mail に初めてアカウントを設定する方は、起動した時点でこのウィンドウが開きます。



4. メール設定に必要な情報を入力して [サインイン] をクリック



あなたのお名前	差出人名として相手に表示させる名前
メールアドレス	お客様のドメインのメールアドレス
パスワード	パスワード

5. メールサーバーの情報を入力して [次へ] をクリック

※受信メールサーバー情報を入力すると、

「ユーザー名」が空白になってしまう場合がございます。

①アカウントの種類の選択、②サーバー情報の入力、
③ユーザー名の入力 の順で設定を行ってください。



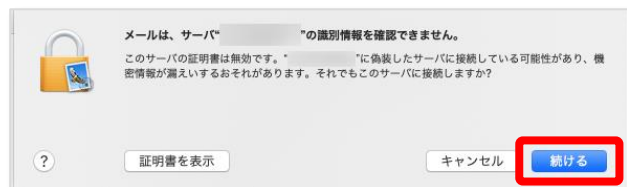
ユーザー名	お客様のドメインのメールアドレス
パスワード	メールアドレスのパスワード
アカウントの種類	POP / IMAP
受信メールサーバー	mail.ドメイン名
送信メールサーバー	mail.ドメイン名

6. 独自メールアドレスを設定する際、メールソフトの仕様で

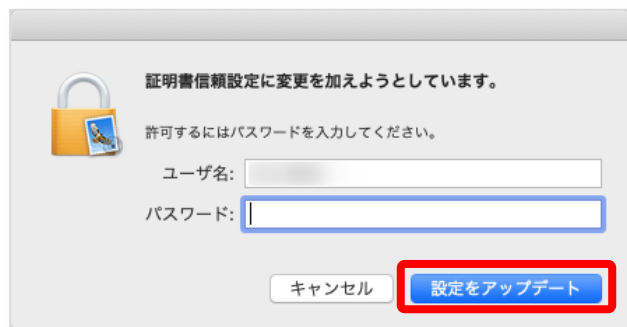
「メールは、"サーバー名"の識別情報を確認できません。」

の表示ができる場合がございます。

この場合は [続ける] をクリックしてください。

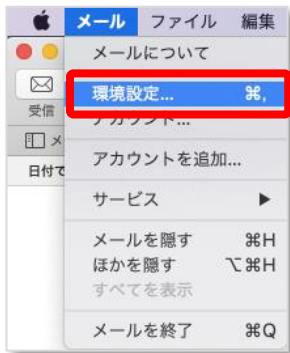


続いて、お客様の Mac にログインする際に使用されている
ユーザー名とパスワードを入力し、[設定をアップデート] を
クリックします。



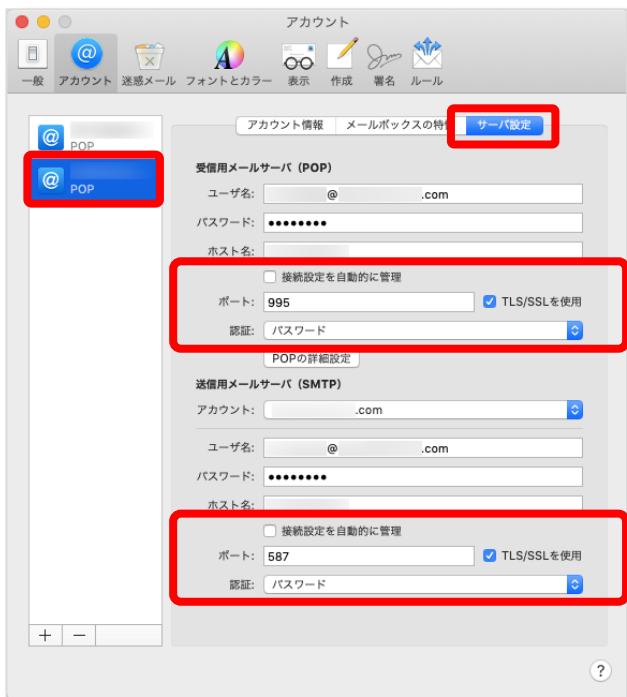
7. 詳細設定を行うため、メニューバー【メール】 > 【環境設定】

> 【アカウント】の順にクリック



8. 設定したアカウントを選択し【サーバー設定】タブをクリックし

以下の設定を変更して【保存】をクリック

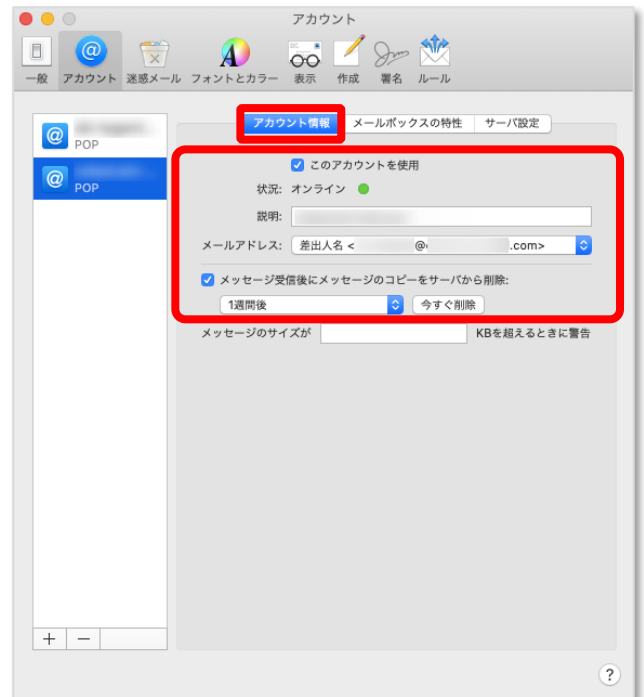


受信メールサーバ (POP)	
接続設定を自動的に管理	チェックをはずす
ポート	POP over SSL の場合 : 995
TLS/SSL を使用	チェックをいれる
認証	パスワード を選択
送信メールサーバ (SMTP)	
接続設定を自動的に管理	チェックをはずす
ポート	587
TLS/SSL を使用	チェックをいれる
認証	パスワード を選択

以上で基本的な設定は完了です。

■ メールアカウント設定後の確認事項

👉 【アカウント情報】タブで、以下の設定をご確認ください。

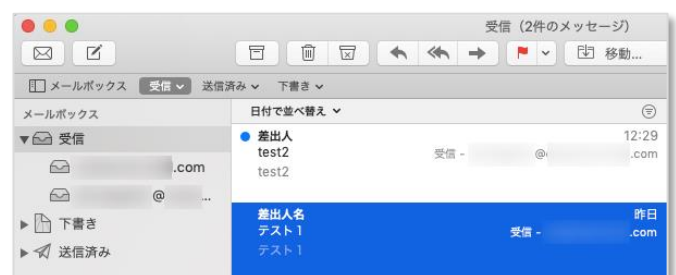


このアカウントを使用	チェックが入っている
状況	オンライン ●
メッセージを受信後にメッセージのコピーをサーバから削除	
初期設定では、メールソフトで受信後、1週間後にサーバ内のメールが削除される設定になっています。	
共通のメールアカウントなどの場合は、チェックをはずし、メールのコピーをサーバに残す必要があります。	

👉 新規メッセージ作成の画面を開き、メール送受信のテストを実施してください。

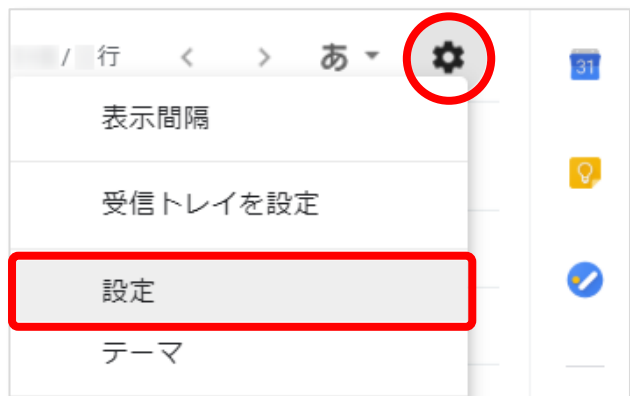
宛先	お客さまのメールアドレス
差出人	お客さまのメールアドレス ※メールアカウントが1つしかない場合、差出人の選択項目は表示されません。

メール送受信テストを行い、以下のようにメールが受信できれば、設定はすべて完了です。



◆ Gmail (PC 版)

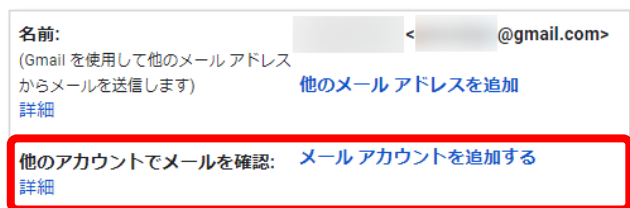
1. Gmail ログイン後、画面右上の  アイコンをクリック > **【設定】** をクリック



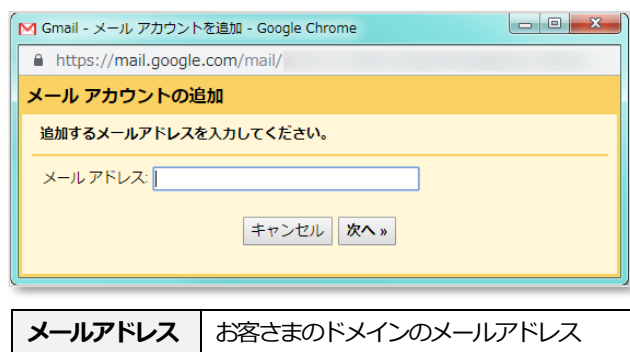
2. 画面上部の **【アカウントとインポート】** をクリック



3. 項目の中から **【メールアカウントを追加する】** をクリック



4. ウィンドウがポップアップで開くので「メールアドレス」に **お客さまのメールアドレス** を入力し **【次へ】** をクリック

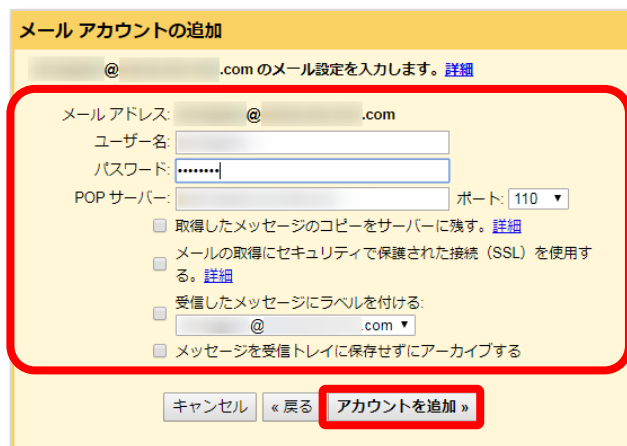


5. **「他のアカウントからメールを読み込む (POP3)」** にチェックして **【次へ】** をクリック



6. メール設定画面で必要な情報を入力します。

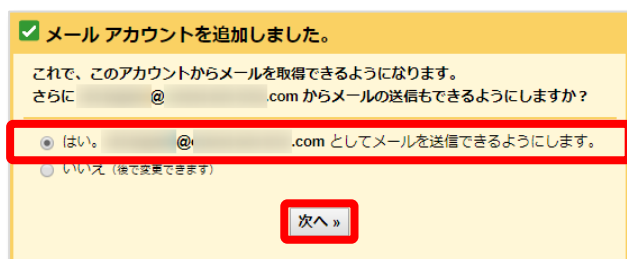
入力後、**【アカウントを追加】** をクリック



ユーザー名	お客さまのドメインのメールアドレス
パスワード	メールアドレスのパスワード
POP サーバー	mail.ドメイン名
ポート	110
取得したメッセージのコピーをサーバーに残す Gmail内にPOP3でダウンロードしたメールのコピーをサーバーに残す場合はチェックが必要です。 複数台で利用している共用のメールアドレスなどは、こちらのチェックが必要ですのでご注意ください。	
メールの取得にセキュリティで保護された接続 (SSL) を使用する チェックはオフにしてご設定ください。 ※POP3 over SSL を使用する場合にチェックします。	
受信したメッセージにラベルを付ける Gmailの受信トレイなどで、お客さまのドメインメールと判別がしやすいよう、件名前に自動でラベルを付けることができます。	
メッセージを受信トレイに保存せずにアーカイブする 受信トレイには表示させず、専用の領域に保存だけしておきたいときに選択します。 アーカイブされたメールは「受信トレイ」からではなく、「すべてのメール」から読むことができます。	

7. 続いてメール送信の設定に進みます。

「はい。●お客様のメールアドレス●としてメールを送信…」 を選択して **【次へ】** をクリック



8.「名前」に、差出人名として表示させる名前を入力して

【次のステップ】をクリック

自分のメールアドレスを追加

別のメールアドレスの情報を入力してください。
(設定した名前とメールアドレスが送信するメールに表示されます)

名前: 差出人名を入力してください

メールアドレス: @.com

☒エイリアスとして扱います。 [詳細](#)

[別の返信先アドレスを指定](#) (オプション)

[キャンセル](#) [次のステップ »](#)

9.送信サーバーの情報を入力して【アカウントを追加】をクリック

自分のメールアドレスを追加

SMTP サーバー経由でメールを送信します

.com の SMTP サーバー経由でメールが送信されるように設定します。 [詳細](#)

SMTP サーバー: ポート: 587 ▼

ユーザー名: @.com

パスワード:

☒ TLS を使用したセキュリティで保護された接続 (推奨)

☐ SSL を使用したセキュリティで保護された接続

[キャンセル](#) [戻る](#) [アカウントを追加 »](#)

SMTP サーバー	mail.ドメイン名
ポート	587
ユーザー名	お客様のメールアドレス
◎ TLS を使用したセキュリティで保護された接続 (推奨)	

10. Gmail から、お客様のメールアドレス宛てに

認証メールが送信されます。

Plesk コントロールパネルから Web メールにログインし、Gmail からの認証メールを確認します。

本文内の URL (リンク) をクリックする または、
本文内の確認コードを空欄のフォームに入力して【確認】を
クリックして完了です。

自分のメールアドレスを追加

確認手順に従ってメールアドレスを追加します

ご使用の他のサーバーを検出し、認証情報を確認しました。作業はもう少しで完了します。

確認コードを記載したメールを @.com に送信しました。
[\[メールを再送信\]](#)

メールアドレスを追加するには、次のいずれかの操作を行います。

確認メールのリンクをクリックします

または
確認コードを入力し、確認してください

[確認](#)

[ウィンドウを閉じる](#)

2-3. 既存のメール設定の確認

メールアカウント設定の移行状況は、以下のとおりです。

メールアカウント	移行済み
転送設定・自動応答	移行済み
アンチスパム・ウイルスチェック	移行済み
メーリングリスト	移行されません※
メールエイリアス	移行されません※

※新サーバーでは、機能自体のご提供がありません。

なお、移行されている情報は、**【サーバー移行日の前日】の設定内容**です。

そのため、弊社での移行作業日の当日以降に追加・編集されたメールアカウントは反映されませんので、ご注意ください。

メールアカウントのログインID、パスワードに変更はありません。

移行済みのメールアカウントは、以下の手順で確認可能です。

- **STEP 1.** マイアカウントページ **【メールホスティング】** をクリック。



- **STEP 2.** 移行済みのメールアドレスが表示されます。

メールホスティング

ここでは、メールアドレスを作成し、スパムやウイルスから保護することも可能です。

新しいメールアドレスを追加メールアドレスを削除

合計 アイテム 🔍 検索/パネルを表示

☐ メールアドレス	ユーザー	ステータス ▲	メールボックスの使用量	
☐		● 準備完了	0 GB/2 GB	アクション ▼
☐		● 準備完了	0 GB/2 GB	アクション ▼
☐		● 準備完了	0 GB/2 GB	アクション ▼
☐		● 準備完了	0 GB/2 GB	アクション ▼
☐		● 準備完了	0 GB/2 GB	アクション ▼
☐		● 準備完了	0 GB/2 GB	アクション ▼

◆ 2-3-1. メールアカウントのパスワード再設定方法

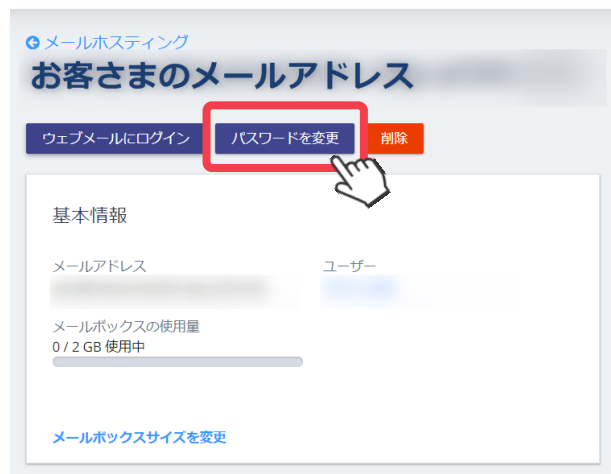
メールアカウントのパスワードは、移行前と同じ情報を引き継いでおります。

マイアカウントページ上では、パスワードは表示されないため、パスワードを失念した場合は、再設定が必要です。

パスワードの再設定は、以下の手順で可能です。

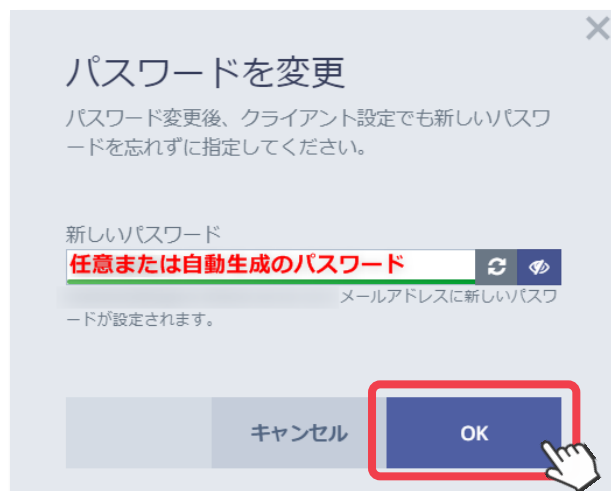
- **STEP1.** マイアカウントページ【メールホスティング】をクリック。

- **STEP2.** 設定情報を確認したいメールアドレス
> 【パスワードを変更】をクリック。



- **STEP3.** 「パスワードを変更」のウィンドウが開きます。
「新しいパスワード」フォームには自動生成されたパスワードが表示されます。
お客さまの任意の文字列でも設定が可能です。
フォームにパスワードを入力し、最後に
【OK】をクリックして保存します。

	パスワードを自動生成
	パスワードを表示する



◆ 2-3-2. 転送・自動応答・アンチスパム設定の確認

転送・自動応答の設定確認は、マイアカウントページ【メールホスティング】→確認したい【メールアドレス】をクリックし、表示された画面から確認できます。

移行前に設定されていた情報に加えて、新規に追加することもできます。



◆ アンチスパム設定

移行前に設定していたブラックリスト・ホワイトリストなどを確認できます。

スパムフィルターは数字が大きいくほど強度が弱くなり、数字が小さいほど強度が強くなります。

☒ このメールアドレスをスパムから保護します
スパムに分類されたメッセージに対する処理
メッセージの件名にプリフィックスを付けてマークします

スパムメッセージ用プリフィックス
[SPAM]
テキストを追加したくない場合には、このフィールドを空欄のままにしてください。メッセージの件名にスコアを明示したい場合には、_SCORE_ と入力してください。

スパムフィルターの許容度
強 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 弱
スパムフィルターの許容度を指定します。ほとんどの場合、デフォルト値の7で十分ですが、受信するスパム数が多い場合には、値を下げてください。また、純粋なメールがスパム扱いされてしまう場合には、値を上げてください。

ホワイトリスト (オプション)
カンマ (,) で区切られたメールアドレス
メールを受信するアドレスを指定します。アドレスはカンマ (,) で区切ります。アドレスにはワイルドカード文字 ("*"および"?") を使用できます。例: *@domain.com, user7@*.com

ブラックリスト (オプション)
カンマ (,) で区切られたメールアドレス
メールの受信を拒否するアドレスを指定します。アドレスはカンマ (,) で区切ります。アドレスにはワイルドカード文字 ("*"および"?") を使用できます。例: *@domain.com, user7@*.com

旧サーバーでスパムフィルターを設定されていたお客さまのうち、

「SPAM として認識したメッセージの場合、件名の先頭に以下のテキストを追加する」

の項目に「**SPAM****」以外の日本語を設定されていた場合、スパムフィルターの設定は、弊社ツールの仕様上、引き継がれておりません。**

お手数ではございますが、メールアドレスの【アンチスパムを管理】から、スパムフィルター設定のご確認・ご修正をお願いいたします。

2-4. Webメールについて

新サーバーのWeb メールは、『Roundcube』というシステムへ変更となります。

旧サーバーで利用してWeb メール『Horde』とは異なるシステムのため、『Horde』で利用されていたアドレス帳や予定表などは、移行されていませんので、ご注意ください。

また、新サーバーのWeb メールは、DNS 切り替え後にご利用いただけるようになります。

DNS 切り替え前のアクセスや、切り替え直後（新サーバーのDNS の情報が伝播するまでの期間）のアクセスの際は、「404 NotFound」のエラーが表示されます。

◆ Web メールへのログイン方法（DNS 切り替え後）

■ STEP 1. マイアカウントページ [メールホスティング] をクリック。

■ STEP 2. 一覧から、確認したい [メールアドレス] > [アクション] > [Web メールにログイン] をクリック。



■ STEP 3. Web メール『Roundcube』のログインページが開きます。

ユーザー名	メールアドレス
パスワード	メールアドレスのパスワード

■ STEP 4. 上記の情報を入力し、[ログイン] をクリックし新サーバーのWeb メールにログイン完了です。

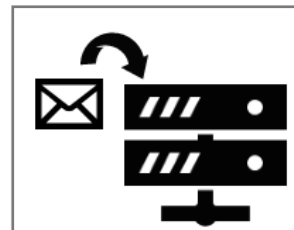


2-5. メールの内部配送について

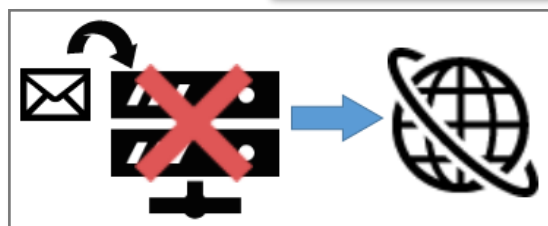
■ 内部配送とは

メール配送が、DNS サーバーへの問い合わせを行わずに、自サーバー内に配送されることを、『**内部配送**』と言います。
メール配送については、どのようなサーバーであっても、一般的には、以下の順序で行われております。

- ① まず、**送信先のドメイン名が、同じサーバー内に存在しないかを確認**します。



- ② 同じサーバー内に送信先のドメイン名が見つからなければ、DNS サーバーに、ドメイン名の問い合わせを行います。



- ③ DNS サーバーから返ってきたドメイン名の接続先サーバーにメールを配送します。



上記のように、メール送信の際には、送り先ドメイン名をDNSサーバーへ問い合わせる前に、自サーバー内にそのドメイン名が存在していないかどうかを確認しています。

ここで、自サーバー内に、該当ドメイン名があれば、DNSサーバーへの問い合わせを行わずにメールの

「内部配送」が行われます。

通常、メールを送信した場合、新サーバーが発行されていても、DNS切り替えを行わなければ、旧サーバーにしか届かず、DNS切り替えを行えば、新サーバーにしか届かなくなるはずです。

しかし、**「内部配送」の条件がそろって、DNS切り替え前に新サーバーにメールが配送されたり、DNS切り替え後に、移行前の旧サーバーにメール配送される事象が発生したりします。**

■ 内部配送の対策

新サーバーの領域作成のご案内メールが届いた後、お使いのメールソフトで届かないメールがある場合には、[新サーバーのWebメールへログイン](#)し、メールが届いていないかをご確認くださいようお願いいたします。

また、新サーバーのWebメールでもメールの確認ができない場合には、旧サーバー側での設定を変更していただくことで、内部配送を回避できます。

しかしながら、新サーバーの領域を作成した時点で、旧サーバーのPleskは基本にご利用いただけなくなりますため、必要があれば、弊社[サーバー移行特設窓口](#)までお問い合わせください。別途、お手続き方法をご案内いたします。

3. Web コンテンツの移行について

3-1. Webコンテンツの移行範囲とご注意点

お客さまの移行予定日の前日に、弊社にて各種データの移行を実施いたします。

データ移行作業を完了後、お客さまへは、メールにて新サーバー移行予定日を個別にご案内いたします。

弊社にてデータ移行を実施する対象は、以下のとおりです。

- httpdocs ディレクトリー以下に収容されている Web コンテンツデータ・
- Web コンテンツに接続されているデータベース

新サーバー移行後に、お客さまが旧サーバー側で Web コンテンツ更新を行われますと、データ差分が発生します。その場合、差分データを新サーバーへアップロードする作業は、お客さまにて実施していただく必要がございます。あらかじめご了承ください。

データのアップロード方法につきましては、『[3-2. ファイルマネージャでのデータ確認方法](#)』をご参照ください。

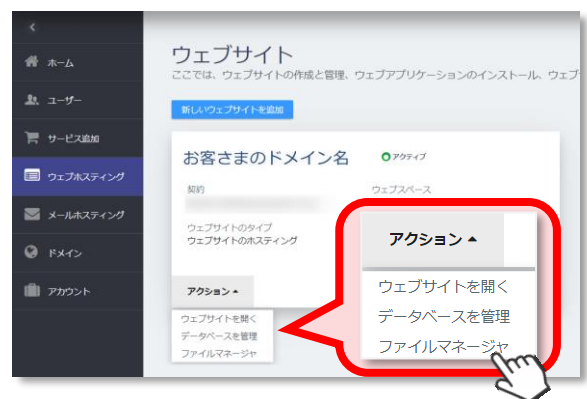
3-2. ファイルマネージャでのデータ確認方法

Plesk コントロールパネルの「ファイルマネージャ」から、移行済みファイルを確認できます。

- **STEP 1.** ウェブホスティング > 該当のドメイン名のエリアの
アクション > 【ファイルマネージャ】を
クリック。

※ドメイン名のメニューエリア全体をクリック後

【ファイルマネージャ】 > 【開く】でも確認できます。



- **STEP 2.** Web コンテンツデータは、ドメイン名ディレクトリー配下に移行されています。



/httpdocs ディレクトリー、/ドメイン名ディレクトリー自体を削除されますと、不具合が発生いたしますので、削除しないでください。

◆ ファイルマネージャの機能について

 アップロード	お客様のパソコンに保存されたファイルをアップロードできます。
 新規 ▾	サーバー内に、新しいディレクトリーやファイルを作成できます。 作成したディレクトリー名・ファイル名の変更や、ファイルの編集も可能です。
 コピー	任意のディレクトリーやファイルをコピーすることができます。
 移動	任意のディレクトリーやファイルを移動することができます。
 削除	任意のディレクトリーやファイルを削除します。
 ファイルを展開	任意のディレクトリーやファイルをアーカイブします。 ※アーカイブとは、長期保存を目的として稼働中の領域などから切り離して保存することです。
 アーカイブに追加	任意のディレクトリーやファイルをアーカイブに追加します。 圧縮形式は「Zip」です。
 その他 ▾	選択したディレクトリーやファイルサイズの計算や、 任意のディレクトリーやファイルのタイムスタンプを変更できます。

3-3. FTPアカウント情報について

新サーバーで利用する FTP アカウントは、旧サーバーで利用していたものと同じ情報です。

FTP 接続ソフト等で、FTP 接続を行っていた場合、接続先サーバー名がドメイン名だった場合、DNS 切り替え前は旧サーバーに接続し、DNS 切り替え後は新サーバーに接続することになります。

DNS 切り替え前に新サーバーに FTP 接続したい場合は、[新サーバーの IP アドレス](#)をご利用ください。

FTP アカウントの情報は、下記の手順でご確認いただけます。

■ **STEP 1.** マイアカウントページ **「ウェブホスティング」** >

「情報を確認したいドメイン名」 をクリック。

■ **STEP 2.** **「FTP」** > **「FTP アカウントを管理」** をクリック。

■ **STEP 3.** 既存の FTP アカウント名が表示されます。

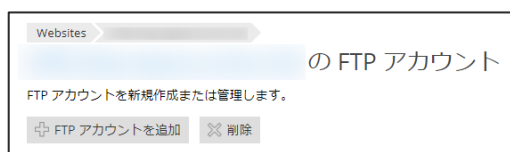
画面上では、設定済みパスワードは表示されませんが、移行前サーバーと同じパスワード情報が設定されています。パスワード情報が不明な場合は、[FTP アカウントパスワードの再発行](#)を行ってください。



旧サーバー（Plesk 9）のウェブホスティング設定 > **「システムアクセス」** で SSH の設定をされていたお客様は、FTP メニュー内に**「SSH サーバー」**の情報が表示されますが、
共用サーバーのセキュリティの観点より、SSH での接続は行えませんので、ご注意ください。

◆ FTP アカウントパスワードの再発行

- **STEP 1.** [FTP アカウント管理] > [FTP アカウントを追加] から既存の FTP アカウントが確認できます。



- **STEP 2.** パスワードを再発行したい FTP アカウント名をクリックすると、下記の画面が表示されます。

任意のパスワードか、自動生成のパスワードを入力し、「OK」または「適用する」をクリックすれば、FTP アカウントのパスワード情報が変更されます。

FTP 接続に必要な情報は、以下のとおりです。

FTP アカウント名	設定されたユーザー名のみ
FTP サーバー名	ドメイン名 DNS 切り替え前に新サーバーに接続する場合は、 新サーバーの IP アドレス をご利用ください。
FTP パスワード	旧サーバーで利用していた FTP パスワードと同じ情報。 再発行した場合は、再発行したパスワード情報をご利用ください。
サーバーディレクトリー	/お客さまのドメイン名 例) /example.com ※/httpdocs で設置されている場合はご変更ください。

新サーバー側で変更した FTP パスワード情報は、旧サーバーには適用されておりません。

新旧サーバーで、パスワード情報はリンクしておりませんので、ご注意ください。

なお、旧サーバーの設定で、「サーバーの初期ディレクトリー」を「/httpdocs」で設定されていた場合、

[新サーバーのディレクトリー構成の違い](#)により、接続ができない場合がございます。「[情報に誤りがないのに接続できない]」といった場合は、あわせて FTP ソフトの接続設定の詳細から、サーバー側のディレクトリー設定をご確認ください。

◆ 絶対パスの変更について

弊社にて、各コンテンツなどのディレクトリーおよびファイルを移行しておりますが、

旧サーバーと新サーバーでは、仕様の違いから、絶対パスが変更となります。

ファイルの記述やアプリケーションの設定で、『サイトパス』を利用されているお客さまは、新サーバーの絶対パスを確認後、新サーバーの情報へ修正をお願いいたします。

◆ メインドメインの場合

旧サーバーの /var/www/vhosts/ドメイン名/httpdocs/ 配下におかれていたファイルが

新サーバーの /var/www/vhosts/wXXX.ws.domainking.cloud/ドメイン名/ 配下に移行されます

利用環境	絶対パス
旧サーバー	/var/www/vhosts/ ドメイン名 /httpdocs/
新サーバー	/var/www/vhosts/w XXX .ws.domainking.cloud/ ドメイン名 / ※ドメイン名 / XXX の箇所はお客さまによって異なります

◆ サブドメインの場合

旧サーバーの /var/www/vhosts/親ドメイン名/subdomains/サブドメインホスト名/httpdocs/ 配下におかれていたファイルが

新サーバーの /var/www/vhosts/wXXX.ws.domainking.cloud/サブドメイン名/ 配下に移行されます

利用環境	絶対パス
旧サーバー	/var/www/vhosts/ 親ドメイン名 /subdomains/ サブドメインホスト名 /httpdocs/
新サーバー	/var/www/vhosts/w XXX .ws.domainking.cloud/ サブドメイン名 / ※ドメイン名 / XXX の箇所はお客さまによって異なります

◆ 絶対パスの確認手順

新サーバーの絶対パスの情報は、下記の手順でご確認いただけます。

- STEP 1. ウェブホスティング > 該当のドメイン名 > ページ下部の「ウェブホスティング」を確認
- STEP 2. 「ドキュメントルート」の情報をご確認ください。



CMS などのアプリケーションをご利用のお客さまで、『サイトパス』のご設定をされているお客さまは
各アプリケーションの開発元のサポートページをご参照ください。

3-4. DNS切り替え前にホームページの表示や動作を確認する

新サーバーには、旧サーバーのWeb コンテンツデータが移行済みとなっておりますが、サーバーシステムに多少の違いがございます。

お手数ではございますが、お客さまご自身で、Web コンテンツの表示や動作に問題が発生していないかどうか、ご確認いただけますようお願いいたします。

◆ 3-4-1. プレビュー機能での確認

新サーバーでは、Plesk 管理ツールのプレビュー機能にて Web ページの表示確認が可能です。

■ STEP 1. マイアカウントページ【ウェブホスティング】 >

『Plesk 管理ツール』内の【開く】をクリック。



■ STEP 2. Plesk 管理画面【プレビュー】をクリックすると、新サーバーのWeb ページが表示されます。



◆ 3-4-2. hosts ファイルでの確認方法

WordPress などの動的コンテンツを運用されている場合や、プレビューサーバー機能を利用して確認を行っても画像が表示されない場合はこちらの手順をお試しください。

なお、下記の手順は WindowsOS の PC をご利用の場合の手順となります。

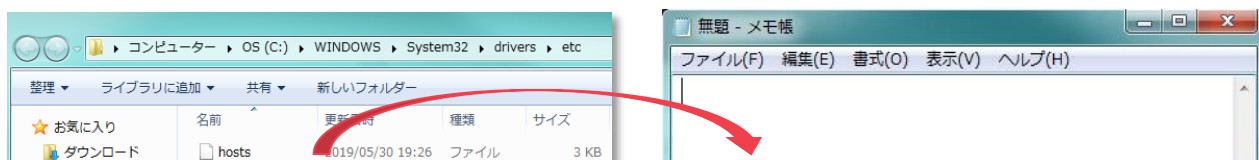
■ STEP 1. hosts ファイルの確認

ご利用の PC の **hosts** ファイルを修正します。以下のシステムディレクトリーまで進んでください。

ご利用 OS	hosts ファイル保存場所
Windows7	C:\Windows\System32\drivers\etc\
Windows8	
Windows10	

■ STEP 2. hosts ファイルを開く

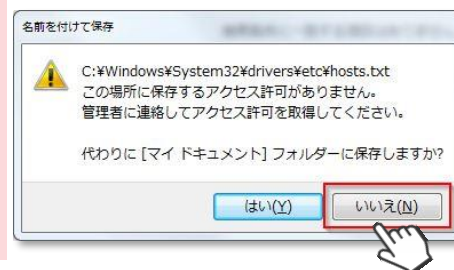
上記のシステムディレクトリーへ移動後、**hosts** ファイル → メモ帳を開いてドラッグ&ドロップします。



※hosts ファイルをそのまま編集せずに上書き保存ができるかを

ご確認ください。上書き保存ができた場合は『STEP 3』へお進みください。

右図のように別ディレクトリーへ保存を促すダイアログが表示された場合は、[こちら](#)へお進みください。ダイアログは「いいえ」を押して、hosts ファイルを閉じます。



■ STEP 3. hosts ファイルに追記する

開いた hosts ファイルの一番下に下記の 2 行を追記して上書き保存をします。

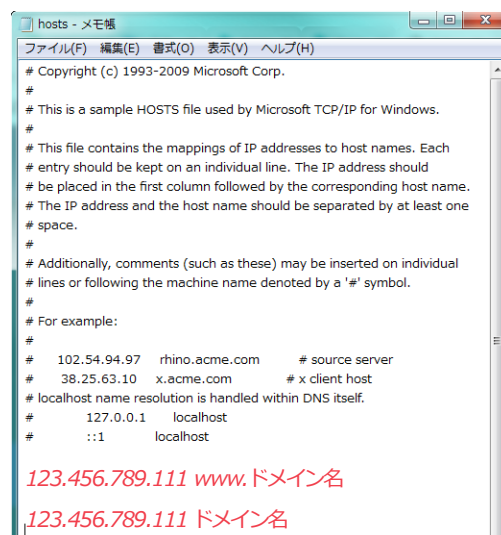
※hosts.txt ではなく hosts のまま保存します。

新サーバーのIPアドレス www.ドメイン名

新サーバーのIP アドレス ドメイン名

※IP アドレスとドメイン名の間に**半角スペース**を入力してください。

この記述ある hosts ファイルがある PC 上からだけ、ドメイン名の接続先が記述した IP アドレスになります。



表示確認が終わりましたら、忘れずに、hosts ファイルから、上記手順で追加した 2 行を削除し、上書き保存してください。

◆ 3-4-3. hosts ファイルを保存しようとしてエラーがでる場合

hosts ファイルを保存しようとしてエラーがでた場合は、下記のいずれかの手順をお試しください。

■企業から PC を貸与されており、管理部門にて一括管理されている PC をご利用の場合

PC の管理部門に hosts ファイルの保存をしたい旨をお伝えください。

※セキュリティの観点から、編集できるファイルやディレクトリーが制限されている場合がございます。

■個人事業主さまやご自宅の PC など個人で管理されている PC をご利用の場合

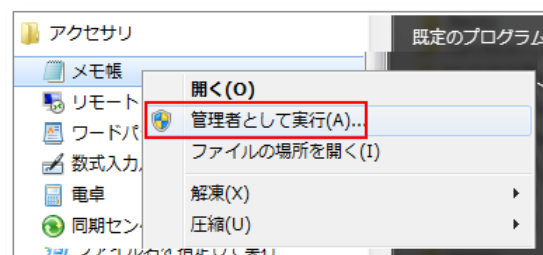
管理者として hosts ファイルを編集する方法がございます。

PC の [スタート] ボタンから、[すべてのプログラム] >

[アクセサリ] > メモ帳 と進み、右クリックをして

[管理者として実行] を選択し、メモ帳を開いてから

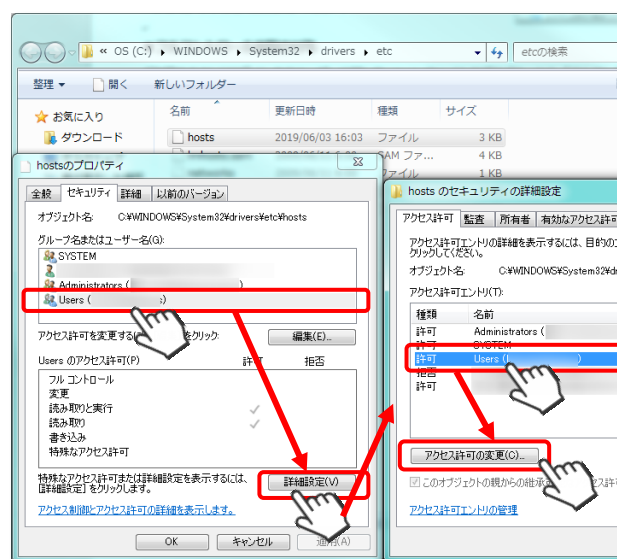
「STEP2」の手順を再度お試しください。



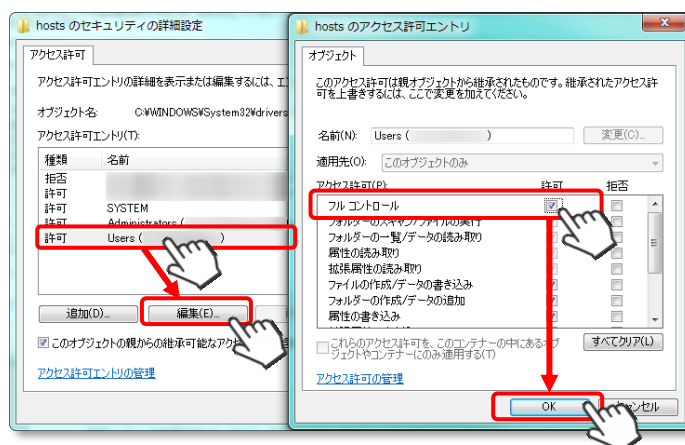
■フルコントロール権限の付与

ご利用中の PC にログイン中のユーザーに対して、hosts ファイルのプロパティから「フルコントロール権限」を付与することで、hosts ファイルが編集可能になる場合があります。

- STEP 1. [プロパティ] > [セキュリティタブ] > [ユーザーの選択] > [詳細設定] > [ユーザー名] の選択 > [アクセス許可の変更] の順に進みます。



- STEP 2. ユーザー名を選択して [編集] をクリック。
[フルコントロール] の許可欄にチェックを
いれて、[OK] をクリックします。



上記作業後に p.34 「STEP3」 から再度お試しください。状況が改善されない場合は PC の管理者さまへご相談ください。

3-5. Web表示でエラーが発生する場合

新サーバーの各プログラム・データベースなどは、セキュリティ強化のため、バージョンアップをしております。

旧サーバーでお使いいただけたバージョンではご使用いただけていた記述や PHP プログラムの関数などが異なることから、Web 表示などに不具合が発生する場合がございます。

お客さまからいただいた事例やよくあるご質問については、ドメインキングのサポートサイト [「よくある質問」](#) に随時更新をしておりますので、あわせてご確認くださいませようお願いいたします。

■ PHP バージョン・実行タイプについて

旧サーバーで利用されていた PHP のバージョン・実行タイプは、現在、セキュリティ上推奨されないバージョンのため、弊社データ移行時に、下記の設定値に変更となっている場合がございます。

- **PHP バージョン** : 5.4.5
- **PHP 実行タイプ** : FPM アプリケーション+nginx

事例 1) TOP ページが表示されず、「**502 Bad Gateway nginx**」と表示される。

事例 2) WordPress で作成したサイトの TOP ページは表示されるが、記事リンク先が「**404 Not Found**」と表示される。

事例 3) CAKE.PHP を利用している Web サイトで「**このサイトを表示できません HTTP ERROR 500**」と表示される

[【サーバー移行】PHP のバージョンは変更できますか。](#)

[【サーバー移行】PHP のバージョンを変更後、502 Bad Gate Way が表示されます。](#)

新サーバーでご利用いただける各プログラムなどのバージョンは以下のとおりです。

PHP バージョン	7.2.x / 7.1.x / 7.0.x / 5.6.x / 5.5.x / 5.4.x / 5.3.x / 5.2.x から選択可 ※PHP7.0 まではサポートが終了しております。 新規で PHP バージョンを選択される場合は、7.1 以上を推奨しております。
PHP 実行タイプ	FPM アプリケーション+nginx FPM アプリケーション+Apache FastCGI アプリケーション+Apache CGI アプリケーション+Apache ※Apache モジュール版はセキュリティリスクが高いため、新サーバーではご利用いただけません
Perl	5.16.x
MySQL / MariaDB	5.5.x

■ .htaccess での「php_value」、「php_flag」の使用について

新サーバーでは、セキュリティリスクがあることから、.htaccess 内での「php_value」、「php_flag」の記述は禁止しています。上述の『PHP 設定』の項目から、設定可能な値がございますので、あわせてご利用ください。

WordPress ほか、PHP などのプログラムを使用して Web サイトを構成されている場合で、新サーバーでの Web 表示に「HTTP 500 ERROR」、「500 Internal Server Error」などが表示される場合は、.htaccess の名称を「htaccess.txt」などに変更していただくことでの無効化、または htaccess 内の「php_value」、「php_flag」の行頭に「#」（半角シャープ）をつけることで無効化をお試しください。

[【サーバー移行】Web サイトに「HTTP ERROR 500 \(500 Internal Server Error\)」と表示されます。](#)

4. データベースについて

旧サーバーで利用されていたデータベースは、弊社にて移行を行っております。

新サーバーに移行されたデータベースは、以下の手順で確認できます。

4-1. データベースを確認する

- **STEP 1.**マイアカウントページ【ウェブホスティング】→【ホスティング設定】>【管理】
>【データベースを管理】をクリック。



- **STEP 2.**データベース管理画面が、下図のように表示されます。



4-2. データベース移行について(パスワードの再設定)

「データベース名」「データベースユーザー名」「データベースパスワード」など、データベースの情報は、基本的には移行前と同じ情報で移行されております。

しかしながら、本移行に際し、複数のサーバーを1つのサーバー筐体移行しており、「データベース名」の重複が発生する可能性があります。「データベース名」が重複した場合、自動的に別の「データベース名」に変更する仕様となります。

なお、WordPress データベースをご利用の場合、WordPress 設定ファイル「wp-config.php」の接続先データベース情報は、自動的に変更後のデータベース情報に書き換わりますので、接続エラーは発生いたしません。

WordPress 以外の 独自プログラムなどでデータベースをご利用の場合、設定ファイル内のデータベース接続情報は、自動的に書き換わりません。

もし、独自プログラムでデータベース接続エラー（500 Internal Server Error など）が表示された場合は、データベース名の重複で自動変更された可能性があるかと判断し、前述の「データベース管理画面」データベース名などの情報をご確認くださいませようお願いします。

データベースのパスワード情報は画面上では表示されませんので、ご不明の場合は、再発行と再設定が必要になります。

◆ データベースパスワードの再設定

- STEP 1. 「データベース管理画面」 > パスワードを再設定したいデータベースの【ユーザー名】をクリック。



- STEP 2. 【生成】をクリックするとパスワードが自動生成されますので、【表示】をクリックし、生成されたパスワード情報を控え、【OK】をクリックします。



以上で、パスワードの再発行は完了です。

5. アプリケーションについて

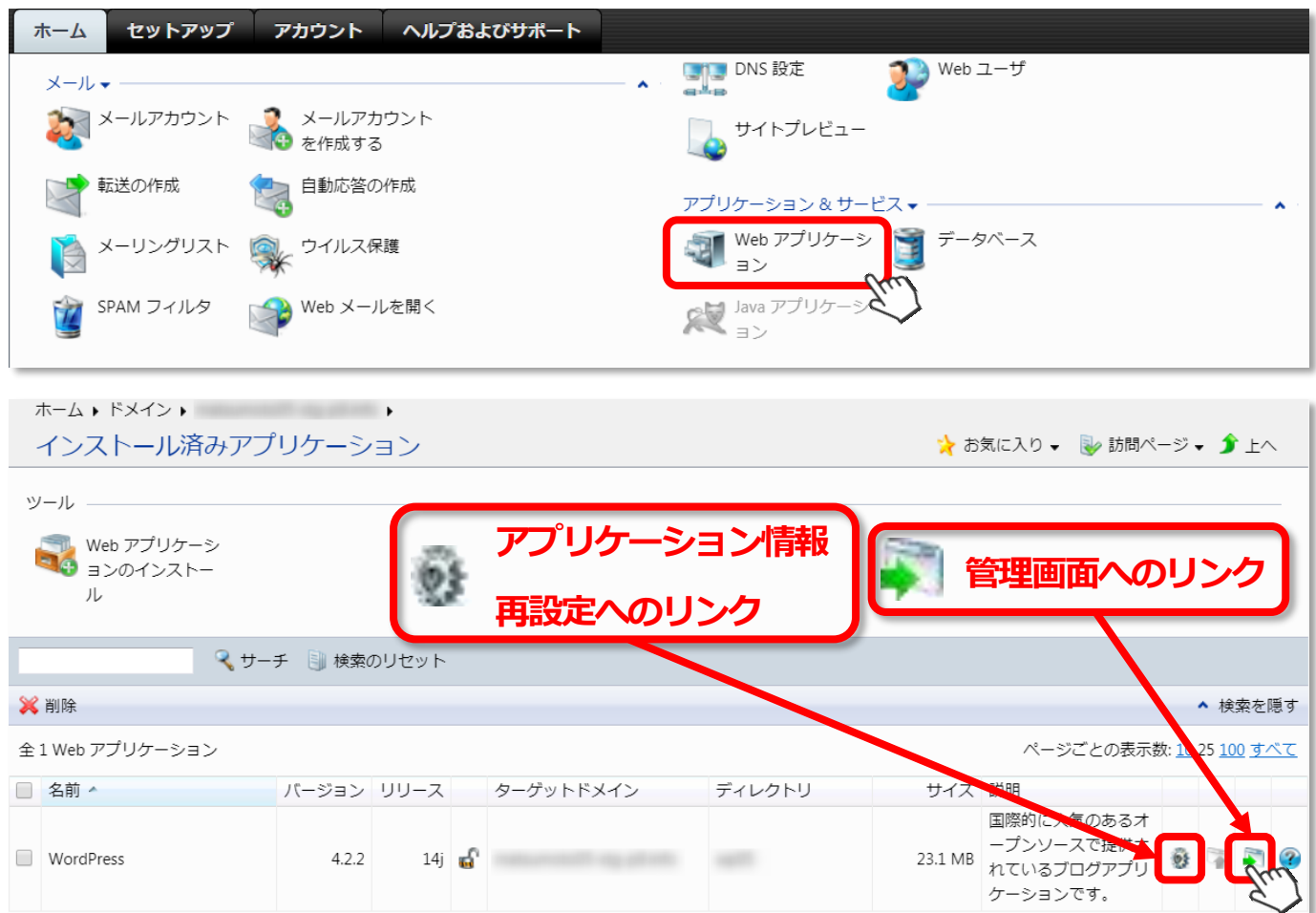
旧サーバーでPlesk管理画面からインストールしたアプリケーションは、新サーバーでも継続してご利用いただけます。

なお、**移行前と同じログイン情報、パスワード情報でご利用いただくことが可能です。**

しかしながら、そのアプリケーションの管理機能は、新サーバーのPlesk管理ツールには移行されておりません。

◆ 旧サーバーの Plesk 画面（参考）

旧Pleskにて、**【アプリケーション&サービス】 内の【Webアプリケーション】**をクリックすると、
下図のように、インストールアプリケーション管理画面へのリンクと、アプリケーション情報再設定ボタンが表示されます。 **※データ移行完了後、旧サーバーのPleskはご利用できません。**



旧サーバーでは、上記のようにPlesk管理画面からインストールアプリケーションの管理画面URLへのリンクがございましたが、移行直後の新サーバーでは、従来と異なり、Pleskから管理できる状態にはなっておりません。

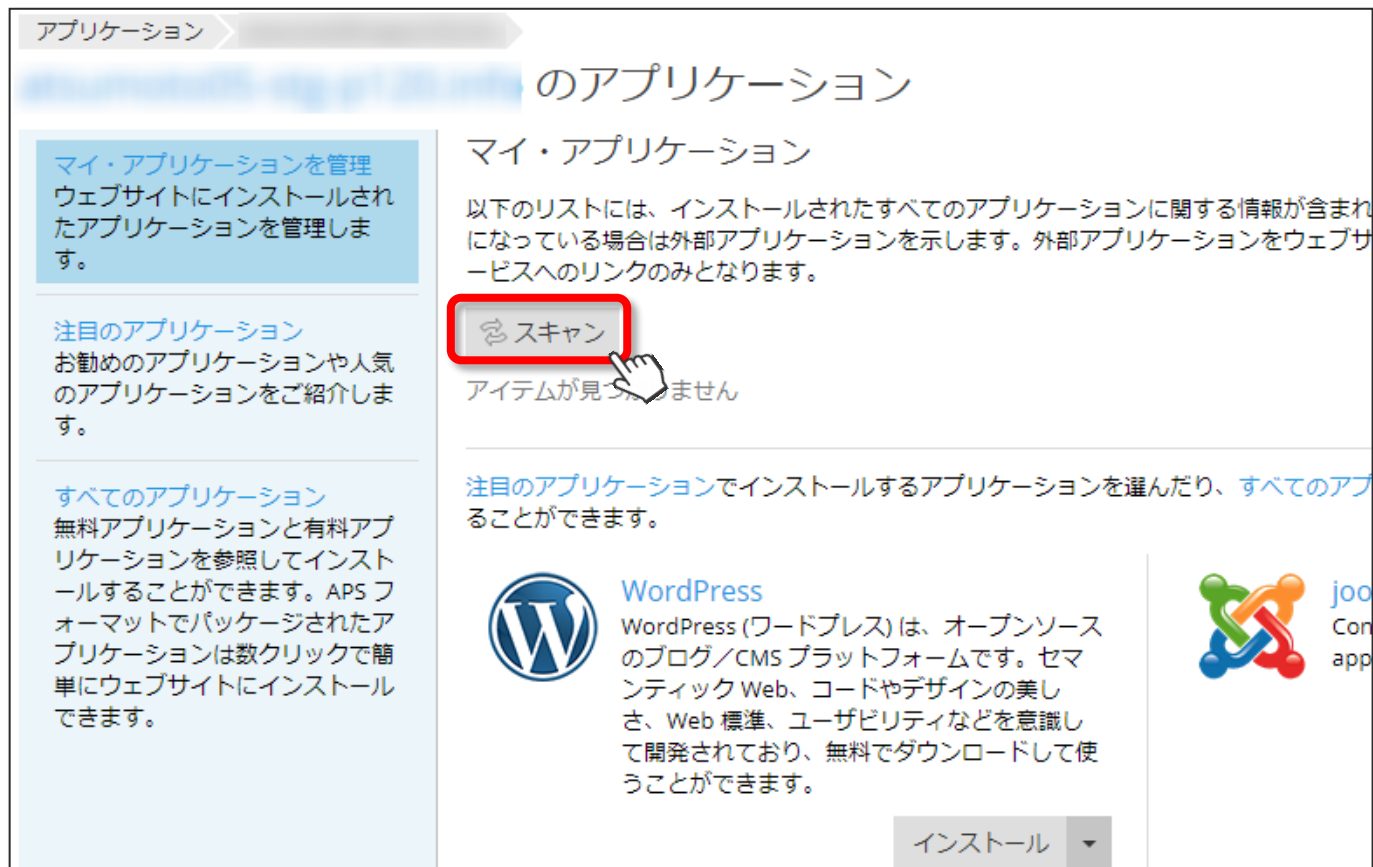
アプリケーション管理をPleskで行いたい場合は、「[5-1.新サーバーへのアプリケーション管理の引き継ぎ](#)」を行っていただきますようお願いいたします。

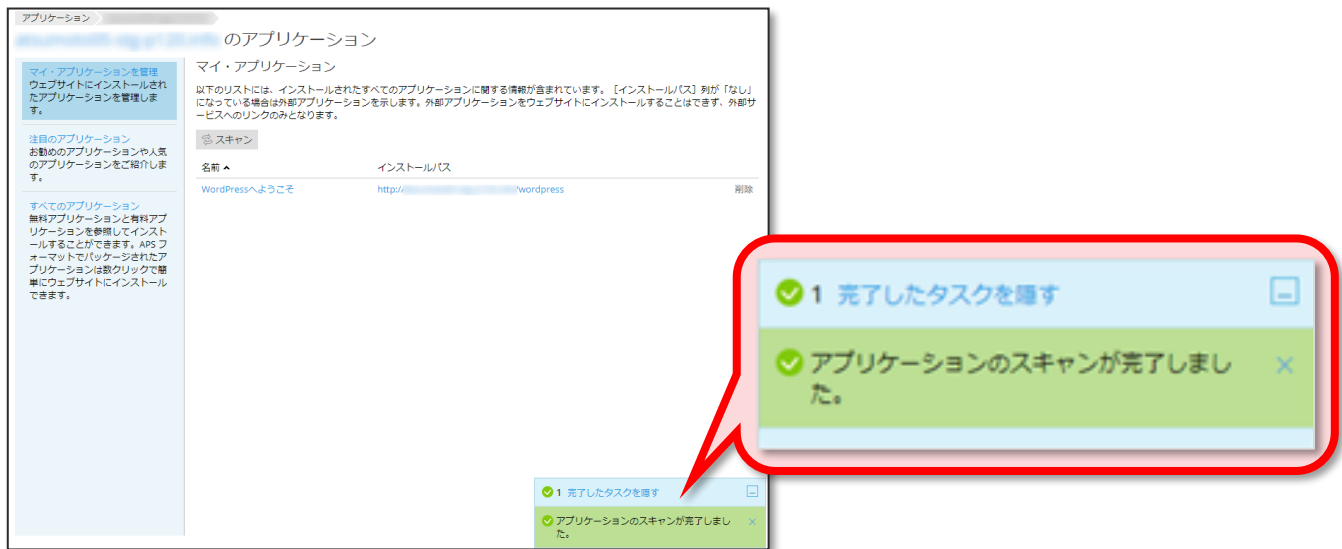
5-1. 新サーバーへのアプリケーション管理の引き継ぎ

- STEP 1. 「ウェブホスティング」 > アプリケーション管理を引き継ぎたいドメイン名エリアをクリック。
- STEP 2. 「ツール」にある「アプリケーション」の「インストールと管理」をクリック。



- STEP 3. 「スキャン」をクリック





スキャンが完了すると、従来と同様に Plesk 上からアプリケーションの管理が可能となります。

なお、**管理画面への初回ログイン時は、アプリケーションパスワードの入力が必要です。**

もし、アプリケーションのパスワード情報を失念されている場合は、[\[このアカウントのパスワードを忘れました\]](#) からパスワード再設定画面から再設定を行ってください。

◆ アプリケーションパスワードの再設定手順

WordPress 管理者のアカウントの設定を変更することができます。Plesk から WordPress ダッシュボード名とパスワードを指定してください。WordPress で管理者のユーザ名を変更するには、現在のユーザ名を変更する必要があります。

管理者

パスワード *

[このアカウントのパスワードを忘れました](#)

ログイン URL

サードパーティの WordPress プラグインを使用して WordPress をカスタマイズしている場合、ここでログイン URL を変更してください。WordPress Toolkit から WordPress インスタンスにログインできます。

* 必須フィールド

OK 適用する キャンセル

下記の画面で、任意または自動生成したパスワードを設定できます。最後に [OK] をクリックして完了です。

管理者

新規パスワード *

パスワードの確認 *

ログイン URL

サードパーティの WordPress プラグインを使用して WordPress をカスタマイズしている場合、ここでログイン URL を変更してください。WordPress Toolkit から WordPress インスタンスにログインできます。

* 必須フィールド

OK 適用する キャンセル

6. ドメインとDNSレコード管理機能【必須】

6-1. ドメインの管理について

弊社で取得されたドメインは、マイアカウントページ【ドメイン】でご確認・各種手続きが行えます。

- ネームサーバー (DNS) の切り替え
- DNS レコードの管理 / DNS ゾーン情報の編集
- レジストラロック
- サブドメイン追加

■ **STEP 1.** マイアカウントページ【ドメイン】 > 【対象ドメイン】をクリックします。

■ **STEP 2.** 以下のメニューが表示されますので、【アクション】をクリックし、操作されたいメニューを選択します。

DNS ホスティング	ドメインに設定している「ネームサーバー」「DNS ゾーン情報」の情報を確認・変更できます。
ドメイン登録	ドメインの有効期限など、一般的な情報が表示されます。 ドメインの契約詳細などもこちらから確認できます。
拡張オプション	ドメインに設定している「レジストラロック」の変更手続きが行えます。 ※すでに新環境へ移行されたドメインにて「Whois 情報代行サービス」の設定をご希望の場合は、 こちら からサポート窓口へご依頼ください。 Whois 情報代行サービスを以前よりご利用の方は、新環境におきましても設定されております ため、再度ご依頼いただく必要はございません。

6-2. DNS（ネームサーバー）の切り替えについて

新サーバーへ移行済みのメールアカウントの確認・設定のご変更や、Web コンテンツの表示確認をしていただき、問題なければ、最後にネームサーバーを変更します。

■ ドメインキングサーバー各プランのご契約にドメインを紐づけてご利用のお客さま

『サーバープラン』と『ドメイン』をご契約のお客さまで、ドメインキングのDNS（ネームサーバー）を利用されている場合、**旧サーバーのDNS レコードは引き継がれません。**

新サーバーのDNS へ切り替えたタイミングで、新サーバーのデフォルトのIP アドレスなどの値が適用されます。

つきましては、任意のレコードを追加してご利用されている場合は、DNS 切り替え後に任意のレコードを追加していただく必要がございますので、あらかじめご了承ください。

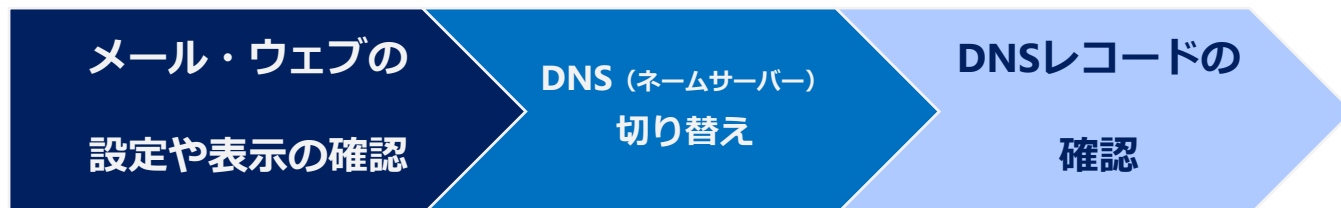
新サーバーに登録されている初期設定値のDNS レコードは、お客さまご自身で「編集・削除」が行えません。

旧サーバーで登録されていた任意のDNS レコードを追加される際、新サーバーの既定値を削除されたい場合は [弊社サーバー移行窓口](#)までご連絡ください。

なお、サブドメインのみ別サーバーでWeb サイトを運用されている（サブドメインのA レコードの接続先が他社）場合や、メールサーバーのみ別のサーバーを利用されている（MX レコードの接続先が他社）などの場合には、DNS 切り替え後、できるだけ速やかにレコードを追加していただけませんと、一時的に接続が行えなくなりますので、ご注意ください。

※事前に、旧サーバーのレコードをPC 上のテキストエディターや、文書作成ソフトなどに控えていただくことをお勧めいたします。

◆ DNS 切り替えまでの流れ



詳細なDNS レコード追加の手順につきましては、

- 6-2. DNS（ネームサーバー）の切り替えについて [旧サーバーのDNS レコードを確認する](#)
- [6-3.DNS レコードの編集](#)
- [6-4. DNS レコードの新規追加・削除](#)

をご覧ください。

■ 弊社以外でドメインを管理されているお客さま

DNS の切り替えは、ドメインを管理されているサービスのみで変更が可能です。

他社管理のドメインをご利用のお客さまは、管理をされているサービスにて、新サーバーのネームサーバーへご変更をお願いいたします。

新サーバーのネームサーバー名	
プライマリネームサーバー	ns1.domaining.cloud
セカンダリネームサーバー	ns2.domaining.cloud

■ 他社 DNS をご利用中のお客さま

DNS の切り替え（修正）は、ご利用中の DNS ホスティングサービスにて行えます。

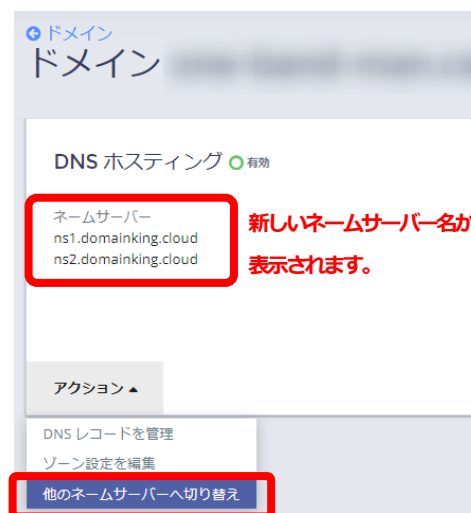
他社 DNS をご利用のお客さまは、管理をされているサービスにて、各 DNS レコードの値を、新サーバーの IP アドレスやホスト名へご変更をお願いいたします。

新サーバーの DNS レコードの確認方法は『[6-3. DNS レコードの編集](#)』をご確認ください。

◆ 新サーバーの DNS（ネームサーバー）へ切り替える ※弊社で管理中のドメイン



- STEP 1. [ドメイン] > 「対象ドメイン」をクリック。
- STEP 2. 「DNS ホスティング」内の [アクション] > 「他のネームサーバーへ切り替え」をクリック。
- STEP 3. 下図のポップアップが表示されますので、[OK] をクリック。



- STEP 4. 新サーバーの DNS へ切り替えを完了すると、新サーバーのデフォルトの DNS レコードが反映され、新サーバーへの接続が開始します。

新サーバーのネームサーバー名	
プライマリネームサーバー	ns1.domaining.cloud
セカンダリネームサーバー	ns2.domaining.cloud

◆ 新サーバー以外の DNS（ネームサーバー）へ切り替える場合

【他のネームサーバーへ切り替え】をクリックし、切り替えたいネームサーバー名を入力【OK】をクリックします。

※ネームサーバーは2つ以上ご指定ください。



◆ 旧サーバーの DNS レコードを確認する

旧サーバーで、お客さまが独自に設定されていた DNS レコードは、以下の手順で確認できます。

- **STEP 1.** 旧サーバーのマイアカウントページへログインします。
- **STEP 2.** [すべてのマイドメイン] > 「対象ドメイン」を選択してクリック。

DOMAIN KING

契約者 (アカウントID:) ログアウト

ホーム **すべてのマイドメイン** ドメイン連絡先 アカウント ヘルプおよびサポート

すべてのマイドメイン

このセクションは、現在設定しているドメインの情報を閲覧できます。新しいドメインを登録したり、現在のドメインを転送するには、ドメインの追加ボタンをクリックします。

ドメイン追加 ネームサーバ変更

ドメイン 登録済み DNS ホスティング

ドメイン 1 - 1 の 1

ドメイン	アクション	登録済み	DNS ホスティング	契約名
ドメイン 1 - 1 の 1	DNS ホスティング	✓	✓	#

- **STEP 3.** [DNS ゾーン] タブをクリックすると、現在そのドメインに設定されている DNS レコードを確認できます。

すべてのマイドメイン >

ヘルプ 1 つ上のレベルへ

一般情報 **DNS ゾーン**

ドメインゾーンファイルの DNS レコードが表示されます。

✓ ゾーンは有効です

新しいレコード ゾーンを無効にする 削除

名称 値

レコード 1 - 12 の 12

名称	TTL	タイプ	優先順位	値
	600	TXT		v=spf1 +a +mx -all
ftp.	600	CNAME		
	600	MX	10	mail.
www.	600	CNAME		
mail.	600	A		
ns.	600	A		
ipv4.	600	A		
webmail.	600	A		
	600	A		
	600	NS		dkns4.hosting-sys.jp.
	600	NS		dkns3.hosting-sys.jp.
	600	SOA		ns1.rocketnet.jp postmaster@rocketnet.jp 2015102009 7200 3600 604800 3600

レコード 1 - 12 の 12

6-3. DNSレコードの編集

旧サーバーで、お客さまが独自に追加・編集されていたレコード情報は、新サーバーには反映されておりません。
必要なレコード情報を設定されている場合は、お客さまご自身で、ご対応いただけますようお願いいたします。

新サーバーに登録されている初期設定値のDNSレコードは、お客さまご自身で「編集・削除」が行えません。
旧サーバーで登録されていた任意のDNSレコードを追加される際、新サーバーの既定値を削除されたい場合は
[弊社サーバー移行窓口](#)までご連絡ください。

- **STEP 1.** [ドメイン] > 「対象ドメイン」 > 「DNS ホスティング」内の
[アクション] > [DNS レコードを管理] をクリック。



- **STEP 2.** 下図のページが開きます。ドメインに設定されているDNSレコード・ゾーン情報をご確認ください。



レコードタイプ	ホスト名	優先値	データ (ゾーンの値)	TTL 値
MX		10	mail.ドメイン名	3600
A	mail.ドメイン名	-	mx 用 IP アドレス	3600
A		-	WEB サーバー用 IP アドレス	3600
CNAME	www.ドメイン名	-	WEB サーバー用 IP アドレス	3600
CNAME	ftp.ドメイン名	-	FTP 用 IP アドレス	3600
CNAME	webmail.ドメイン名	-	メールサーバー用 IP アドレス	3600
TXT	※任意でご登録可能です	-	※任意でご登録可能です	

6-4. DNSレコードの新規追加・削除

DNS レコードを新規追加・削除・変更される場合は、入力される項目に間違いがないか、ご確認ください。

新たにレコードを追加する場合は、**【新しいレコードの追加】** をクリックして、レコードを追加します。

※設定するレコードタイプにより、入力フォームの種別が異なります。

ドメインキングのサーバーで設定できるレコードをまとめましたので、以下をご確認ください。

レコードタイプ		レコードのタイプを選択できます。
タイプ	値 (フォーム名称)	選択可能なレコードタイプは以下です。
NS	ネームサーバー	ドメインの DNS サーバー名を指定します。
A	IPv4 アドレス	ホスト名 (www.ドメイン名など) の IP アドレス (IPv4) を指定します。
AAAA	IPv6 アドレス	ホスト名 (www.ドメイン名など) の IP アドレス (IPv6) を指定します。
MX	メールエクスチェンジャ	ドメインのメールサーバー名を指定します。
CNAME	正規名	ホスト名 (www.ドメイン名など) のエイリアス (別名) を指定します。
TXT	テキストデータ	ホスト名 (www.ドメイン名など) のテキスト情報を指定します。 なりすましメールを防ぐために使われる「SPF レコード」などを入力できます。
SRV	※右記参照	ドメインで提供されるサービスの詳細などを指定します。 サービス/プロトコル/優先度/重み/サーバーのホスト名/サーバーポート
ホスト (オプション)		例) www.ドメイン名 など。 フォームへの入力時は、ドメイン名の前までを入力してください。
優先度		MX レコードが複数ある場合、優先度の設定が必須です。 ※数値が低ければ優先度が高くなり、数値が高いと優先度が低くなります。
TTL (オプション)		TTL(Time to live)を設定できます。デフォルト値は 3600 です。

◆ TXT レコードの追加について（SPF 値を追加する）【必須】

【メールサービスをご利用のお客さま】

新サーバーでは、セキュリティ対策として、リレーサーバー方式を採用し、メールを配送する方式を採用しております。

お客さまのメールサーバー → 弊社リレーサーバー → 宛て先サーバー

しかしながら、新サーバーの初期設定のDNSレコードには、リレーサーバーを使用するための「SPFレコード」が設定されていません。そのため、お客さまにて追加をしていただく必要がございます。

※SPF (Sender Policy Framework) とはメール送信元のドメインが詐称されていないかなどを検査するしくみです。

安全にメールサービスをお使いいただくためにも、p.40 『[新サーバーのDNS（ネームサーバー）へ切り替える](#)』を行われた後に、以下の手順でTXTレコード（SPF）を追加設定していただけますようお願いいたします。

■ STEP 1. 【ドメイン】 > 「対象ドメイン」 > 「DNSホスティング」内の
【アクション】 > 【DNSレコードを管理】をクリック。

■ STEP 2. 【新しいレコードの追加】をクリック。

■ STEP 3. レコードタイプから【TXT】を選択し、以下の情報を入力し
【OK】をクリック。

レコードタイプ	TXT
テキストデータ	v=spf1 +a:relay.poa.svr4u.net -all
ホスト（オプション）	空欄 お客さまドメイン名
TTL（オプション）	空欄



新しいレコードの追加

レコードタイプ
TXT

テキストデータ

ホスト（オプション）
お客さまドメイン名

TTL（オプション）
秒
デフォルト値（3600 秒）を使用するには空欄にしてください

キャンセル

OK

7. お支払い方法の設定について【必須】

「ドメインキング」のシステム刷新にともない、お支払い方法の金融機関・手順などが変更となります。

注意事項を必ずお読みいただき、ご希望のお支払い方法や手順をご確認ください。

◆ お支払い方法についての変更点・注意事項

お支払い情報は引き継ぎされないため、契約満了日の前日までにマイアカウントページ上で設定いただく必要がございます。

新システムへ移行後は、「**コンビニ払い**」が追加となります。

お支払い方法は「クレジットカード払い」、「銀行振込」、「コンビニ払い」の3種類となりますので、ご希望のお支払い方法をご確認ください。

	クレジットカード払い	ご利用可能なクレジットカードは、VISA、Master、JCB、AmericanExpress です。 ※海外のクレジットカードはご利用いただけません。あらかじめご了承ください。
	銀行振込	「サーバーサービス / ドメイン 更新ご請求に関するお知らせ」メールにて 弊社指定の口座をご連絡いたします。 ご請求メール送信日より7日以内にお振り込みください。
	コンビニ払い [NEW]	セブンイレブン/ローソン/ファミリーマート/ミニストップ/セイコーマート をご利用いただけます。

◆ 振り込み先のご変更について

お振り込み先が「三井住友銀行」から「**GMO あおぞらネット銀行**」への振り込みに変更となります。

移行前	移行後
三井住友銀行	GMO あおぞらネット銀行

移行後、弊社より新しいお振り込み情報を記載したメールが送信されますので、ご案内内容のご確認をお願いいたします。

※移行後、初めてご請求する更新請求分より、お振り込み先が「GMO あおぞらネット銀行」に変更となります。

お振り込み口座情報につきましては、新しいマイアカウントページにてご確認ください。

※移行後に誤って「三井住友銀行」の旧口座へお振り込みされた場合は、ご返金となります。

「GMO あおぞらネット銀行」への振り替えを行えませんがあらかじめご了承ください。

なお、ご返金時の振込手数料はお客様負担となります。

◆ クレジットカードでのお支払い

- STEP 1. アカウント > [支払方法] の順にクリック。
- STEP 2. [新しい支払方法を追加する] をクリック。
- STEP 3. 「新しい支払い方法を追加する」ウィンドウ内の [続ける] をクリック。
- STEP 4. クレジットカード情報の入力画面が表示されますので、以下の項目をご入力ください。

※システムの仕様上、「合計金額：¥1」と表示されますが、実際には請求されませんのでご安心ください。

カード会社	VISA / Master / JCB / AMEX
カード番号	半角数字のみ ハイフン抜きでご入力ください
セキュリティコード	カード裏面に記載の3桁の数字
有効期限	月 / 年 の順にご選択ください
このカードを保存して、次回からの支払いに使用します	クレジットカードをご登録後、自動更新をご希望の場合は、有効にしてください

支払方法

契約を更新し、自動更新請求書に対して支払うには、自動支払を有効化してください。

オンライン支払方法

新しい支払方法を追加する

アカウントにオンライン支払方法が保存されていません。

カード情報

カード会社	VISA
カード番号	
セキュリティコード	
有効期限	1 月 2025 年

※このカードを保存して、次回からの支払いに使用します

キャンセル 送信

- STEP 5. クレジットカード情報をご入力後、[送信] をクリック。

◆ 銀行振込（GMO あおぞらネット銀行）でのお支払い

お支払い方法をご登録後、弊社のご契約メールアドレス宛てに、以下の件名でメールが届きます。
本文内に振り込み先情報が記載されておりますので、ご確認のうえ、お支払いをお願いいたします。

■ 件 名：【重要】[ドメインキング] お振り込み先口座情報のお知らせ

なお、ご請求メールなどを削除された場合は、以下の手順で弊社指定の口座情報をご確認ください。

- STEP 1. マイアカウントページ [アカウント] > [支払方法] の順にクリック。
- STEP 2. 「銀行振込 GMO あおぞらネット銀行」のメニュー内をご確認ください。

金融機関名（銀行名）	GMO あおぞらネット銀行
支店名（支店番号）	支店名は「半角カナ」で表示されます。 カッコ内の3桁の番号が支店番号です。
口座種別	普通口座
口座番号	口座番号は、お支払い登録ごとに変ります。 お間違いのないようご注意ください。

銀行振込 GMO あおぞらネット銀行 支店() (普)

自動支払い
オン

アクション

◆ コンビニエンスストアでのお支払い

お支払い方法をご登録後、弊社のご契約メールアドレス宛てに、以下の件名でメールが届きます。
本文内に、「ご指定のコンビニエンスストア」、「ご注文内容」、「お支払い情報」、「お支払い方法」が記載されておりますので、ご確認のうえ、お支払いをお願いいたします。

■ 件 名：コンビニ決済依頼完了のお知らせ

上記のご請求メールをご確認いただけない、誤って削除されたなどの場合は、弊社[サポート窓口](#)までお問い合わせください。

8. ご契約について【必須】

弊社でのご契約内容や請求履歴などもマイアカウントページの【アカウント】のメニューよりご確認ください。

マイアカウントページの【アカウント】では、以下のメニューをご用意しております。

 注文と請求書	お客さまへのご請求内容や、決済の履歴が確認できます。 お客さまのお支払い状況全般は、このメニューからご確認ください。
 契約一覧	弊社でのご契約中の「プラン」「ドメイン」などを一覧で確認できます。 ご契約更新や解約のお手続きも、このメニューから行えます。
 支払方法	クレジットカードの情報を登録、または削除できます。 クレジットカード支払いのお客さまは、自動支払い（自動更新）の有効化・無効化もこのメニューから行えます。 ※お支払い方法をクレジットカードから銀行振り込みに変更される場合は、クレジットカード情報を削除してください。
 アカウントプロフィール	お客さまのご契約情報（連絡先・住所・電話番号・法人情報）を確認および変更できます。 ※「管理者連絡先」「請求連絡先」「テクニカルな連絡先」「法人名」など
 アクションログ	ご契約のサーバーに登録されているすべてのユーザーが実行したアクション履歴をご覧になれます。  と同じ機能です。

8-1. ご契約内容の確認方法

マイアカウントページ【アカウント】 > 【契約一覧】から、現在ご契約中の「サーバープラン」、「ドメイン」、「オプション」が一覧で確認できます。

各プラン名・ドメイン名・オプション名をクリックして、その詳細をご覧になれます。

契約一覧

合計 アイテム  検索パネルを表示

ID ▲	タイトル	ステータス	ホットアクション	サービス
	に期限切れ	● アクティブ		WebHosting Plesk
	に期限切れ	● アクティブ		ドメイン
	に期限切れ	● アクティブ		WebHosting Plesk
	に期限切れ	● アクティブ		ドメイン

8-2. ご契約更新・解約方法について

『8-1.ご契約内容の確認方法』で表示された一覧から、更新または解約を希望される「プラン」、「ドメイン」、「オプション」をクリックして「契約情報」を表示します。



◆ 更新・自動更新を行われる場合

手動で更新される場合は、画面内の【更新】をクリックします。

更新請求が発行されますので、内容をご確認のうえ、期限内にお支払いをお願いいたします。

なお、お支払い方法をクレジットカードで行われるお客さまは、【自動更新を有効化】をクリックして、自動更新請求の設定が行えます。自動更新を選択すると、**毎月、契約有効期限の10日前に自動的にクレジットカードで決済**されます。

◆ 解約を行われる場合

現在ご契約中のプランなどを解約する場合は、【自動更新を無効化】をクリックして、自動更新請求が発生しないよう設定をお願いいたします。こちらが実質の解約手続きとなります。

※ドメインの解約はお客さまご自身で行えない場合がございます。他社へドメインを移管される際は、[弊社サポート窓口](#)へお問い合わせください。

※プラン・ドメインの解約はそれぞれで行っていただく必要がありますので、ご注意ください。

8-3. お客さま情報変更の手続き方法

- STEP 1. マイアカウントページ【アカウント】 > 【アカウントプロフィール】をクリック。
- STEP 2. アカウント設定内の【編集】をクリック。
- STEP 3. 変更される項目の情報を修正し【OK】をクリック。

※ご登録住所を変更される場合は、

「住所」内の【編集】をクリックして、
情報を変更してください。



8-4. 請求情報の確認方法

- **STEP 1.** マイアカウントページ【アカウント】 > 【注文と請求書】をクリック。
- **STEP 2.** 注文履歴 > ご注文履歴のリストから請求書・領収書を発行されたい注文をクリック。

注文と請求書

注文履歴

合計 アイテム 🔍 検索/パネルを表示

番号	説明	合計	日付	ステータス
SO	1 年の プランの注文	¥ 10,670	2019年4月15日	● 完了済み
SO	1 年の プランの注文	¥ 10,454	2019年4月15日	● 完了済み
SO	1 ヶ月の プランの注文	¥ 2,354	2019年4月15日	● 完了済み

- **STEP 3.** 「注文詳細」のページの「アイテム」の項目をご確認ください。

アイテム

説明	数量	期間	単価価格	割引	合計価格
ドメイン 1 年 への登録	1 アイテム	1 年	¥ 1,480	¥ 0	¥ 1,480
自動更新料金	1 アイテム	12 ヶ月	¥ 700	¥ 0	¥ 8,400
					小計: ¥ 9,880
					消費税(8%): ¥ 790
					合計: ¥ 10,670

8-5. 請求書（領収書）の発行方法

- STEP 1. マイアカウントページ【アカウント】 > 【注文と請求書】 > 【請求履歴を表示】をクリック。



- STEP 2. 注文履歴 > ご注文履歴のリストから請求書・領収書を発行されたい注文をクリック。



- STEP 3. 【請求書・領収書をダウンロード】 をクリック。

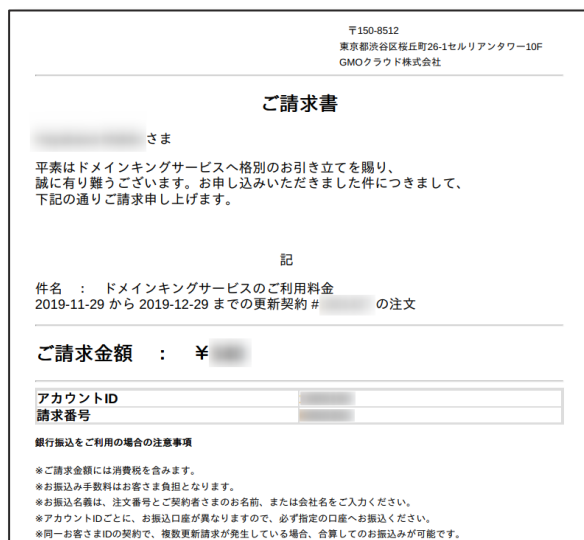


- STEP 4. 「請求書 *****.pdf」 ※*****は請求書番号

の名称のPDF ファイルがダウンロードされますので、ご査収ください。



以上で請求書の発行は完了です。



ドメインキング

<https://www.domainking.jp/>

サーバー移行についてのお問い合わせ窓口

メールでのお問い合わせ

[お問い合わせフォーム](#)

チャットでのお問い合わせ
平日 10 : 00～18 : 00

[こちら](#)のチャットサポート窓口からお問い合わせください。

ドメインキングについてのお問い合わせ

DNS 切り替え後の
お問い合わせ窓口

[お問い合わせフォーム](#)